

目次

* 短期大学の状況	1
《Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》	3
《Ⅱ 教育の内容》の記述及び資料等について	5
《Ⅲ 教育の実施体制》の記述及び資料等について	15
《Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果》の記述及び資料等について	23
《Ⅴ 学生支援》の記述及び資料等について	44
《Ⅵ 研究》の記述及び資料等について	52
《Ⅶ 社会的活動》の記述及び資料等について	59
《Ⅷ 管理運営》の記述及び資料等について	61
《Ⅸ 財務》の記述及び資料等について	71
《Ⅹ 改革・改善》の記述及び資料等について	73

* 短期大学の状況

(1) 平成18年度から20年度までの学科ごとの入学定員、入学者数、入学定員充足率(%)、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(%)

(在籍者数は毎年度5月1日時点)

学科・専攻名		H18 年度	H19 年度	H20 年度	備考
生活 科学科	入学定員	100	100	40	
	入学者数	77	92	31	
	入学定員 充足率(%)	77.0%	92.0%	77.5%	
	収容定員	200	200	140	
	在籍者数	175	166	119	
	収容定員 充足率(%)	87.5%	83.0%	85.0%	
アート・デ ザイン 学科	入学定員	60	60	60	
	入学者数	68	83	72	
	入学定員 充足率(%)	113.3%	138.3%	120.0%	
	収容定員	120	120	120	
	在籍者数	105	149	153	
	収容定員 充足率(%)	87.5%	124.2%	127.5%	
看護学科	入学定員	80	80	—	
	入学者数	90	88	—	
	入学定員 充足率(%)	112.5%	110.0%	—	
	収容定員	240	240	160	
	在籍者数	278	267	183	
	収容定員 充足率(%)	115.8%	111.3%	114.4%	

学科・専攻名		H18 年度	H19 年度	H20 年度	備考
専攻科助 産学専攻	入学定員	15	15	30	
	入学者数	17	17	29	
	入学定員 充足率(%)	113.3%	113.3%	96.7%	
	収容定員	15	15	30	
	在籍者数	17	17	29	
	収容定員 充足率(%)	113.3%	113.3%	96.7%	

(2) 平成18年度～20年度に入学した学生の出身県別人数及び割合

(各年度 5月1日現在)

県・地域等	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
群馬県	161	63.9%	164	62.4%	68	66.7%
栃木県	40	15.9%	40	15.2%	19	18.6%
茨城県	3	1.2%	3	1.1%		
埼玉県	14	5.6%	11	4.2%	3	2.9%
新潟県	10	4.0%	8	3.0%	4	3.9%
長野県	8	3.2%	13	4.9%	5	4.9%
東北地方各県	9	3.6%	11	4.2%	3	2.9%
南関東各県	2	0.8%	3	1.1%		
その他地域	4	1.6%	6	2.3%		
その他	1	0.4%	4	1.5%		

(3) 法人が設置する他の教育機関の名称、所在地

教育機関名	所在地
桐生大学	群馬県みどり市笠懸町阿左美606
桐生第一高等学校	群馬県桐生市小曾根町1-5
桐生大学附属幼稚園	群馬県桐生市小曾根町1-2

《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》

【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念とその意味するところ。及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景

建学の精神・教育理念は「社会に出て役立つ人材の育成」である。

明治34年に本学園の礎である桐生裁縫専門女学館を創設した時、創設者は、明治の女性でありながら当時の社会通念を超えた「女性の経済的自立」をめざし、「実学実践」の教育方針により、高い教養と確かな技術の修得を実践して、地域産業を支える多くの人材を世に送り出した。

桐生短期大学は、「実学実践」の教育方針の下、地域社会で有用な人材を輩出してきた桐丘学園の伝統を引き継ぎ、「社会に貢献できる人間の育成」を建学の精神・教育理念として、昭和38年に設立された。桐丘学園は、平成20年4月に桐生短期大学を母体とした桐生大学を設置したため、桐生短期大学を改組転換し、桐生大学短期大学部と名称変更した。しかし、建学の精神・教育理念については、「社会に出て役立つ人間の育成」を引き継ぐものである。

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているか。

本学への入学希望者や、本学の関係者に配布するための「学校案内」には、学園創設時の建学の理想・教育方針と、桐生大学短期大学部の教育理念・教育目標を示している。

また、新生には手帳大の持ち運びしやすい「2008学生生活ハンドブック」(大学と共通)を配布して、学生生活全般についての説明を掲載しているが、巻頭の「1 教育方針」において、桐生大学及び桐生大学短期大学部の建学の精神・教育理念についても説明している。

新生には、入学後、新生全員を対象とした大学と共同の「オリエンテーション」において、桐生大学短期大学部の建学の理念、教育方針等を説明している。

教職員については、4月1日に実施した全教職員参加の「全体会議」で建学の精神・教育理念について確認している。新任教職員に対しては、勤務初日に実施する新任教職員オリエンテーションのなかで、特に学園創設の経緯、建学の精神、桐生短期大学の歴史、建学の理念、教育方針等を説明している。

【教育目的、教育目標について】

(1) 全学的に示された教育目的や教育目標ならびにそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標。

全学的な教育目的・教育目標としては、「実学実践」の建学依頼の教育方針のもと、専門知識・技術を身につけ、スペシャリストとして社会で活躍できる人、リーダーシップをとれる人の育成」を掲げている。

各学科の具体的な教育目的や教育目標は次の通りである。

1) 生活科学科

平成20年4月に、桐生短期大学生生活科学科は改組し、定員60名の桐生大学医療保健学部栄養学科と定員40名の桐生大学短期大学部生活科学科に生まれ変わった。新しい生活科学科の教育目的・教育目標は、「私たちの生活を身近な問題から、グローバルなテーマに至るまで幅広く研究し、実践を重視して「健康」「栄養」の分野で活躍できる人材を育成する」というものである。

2) アート・デザイン学科

アート・デザイン学科の教育目的・教育目標は、「今後、ますます重要となる「デザイン・芸術」の両分野において、創意にあふれた表現力と社会の要請に柔軟に対応できる確かな知識・技術・感性を備え、自らの信念に基づいて創作・制作活動を展開できるデザイナー・アーティストを育成する」というものである。

3) 看護学科

桐生短期大学看護学科については、平成20年度入学生から募集停止とし、桐生大学医療保健学部看護学科に順次移行することとなった。平成20年度については、2年生・3年生が在籍するが、平成19年度以前の教育目的・目標をそのまま踏襲する。それは「本学園の教育方針である「実学実践」による教育を行い、学生の自主性・積極性を踏まえ、人間の尊重、自己啓発を基盤とした人間性豊かな看護職を育成し、人々の健康の向上に貢献することを看護学科の理念に掲げ、看護職に必要な基礎的知識・技術・態度およびこれらを統合して看護実践できる能力を養い、生涯にわたり、看護学の発展に寄与できる人材を育成すること」である。

4) 専攻科助産学専攻

専攻科助産学専攻は、桐生大学短期大学部専攻科助産学専攻と改称したが、基本的には前年と同様の教育目的・教育目標である。それは「専門性の高い助産師にふさわしい対象理解を基盤に、必要とする知識技術を修得し、社会的使命を自覚して実践できる能力を養い、生涯にわたり助産学の発展に貢献できる態度を養う」というものである。

(2) それぞれの学科等の教育目的や教育目標を学生や教職員に周知する方法、また学外に公表する方法。

学生に対しては、「新入生オリエンテーション」の後、各学科別オリエンテーションにおいて、カリキュラム・履修方法を説明する際に教育目的や教育目標についての説明を行っている。

教職員については、教授会、学科連絡会において話し合い、共通理解を図っている。また、4月の新任教職員研修において、学科ごとに説明をしている。

外部に対しては、学校案内やホームページにおいて、学科・コース説明の中で、各学科・コースの教育目的について示している。

【定期的な点検等について】

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検の概要。また点検を行う組織、手続き等。

建学の精神や教育理念の解釈の見直しに関しては、自己点検・評価委員会で行われることになっているが、今年度もこれまでの「建学の精神」「教育理念」で教育・研究活動に臨むことにしている。

教育目的・教育目標については、各学科の連絡会議で、学科長を中心に専任教員が意見交換を行い、それを受けて、教授会・教務委員会等で検討することとなっている。教育目的・教育目標の検討については、教務委員会の専門部会である各学科でのカリキュラム検討会の際に、あわせて実施される。

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施における、理事会または短期大学教授会の関与。

本学園の建学の精神は、学園所属の各学校に生かされており、短期大学は建学以来、「社会に出て役立つ人間の育成」を教育理念として、発展してきている。今回の大学設置・短期大学部の改組転換の過程でも、理事会・評議員会で確認されている。

建学の精神・教育理念に基づく教育目的・教育目標は、今回の改組転換においても、時代や社会のニーズと比較して各学科連絡会議・教務委員会等で検討され、それを受けて教授会でも検討されている。その結果、ほぼこれまでの教育目的・教育目標を踏襲することとなり、それらは学長が理事長・理事会に報告している。

【特記事項について】

(1) その他建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していること

教育目的に掲げる人材育成教育を推進するために多彩な学校行事を設定し、学生の参加を促している。

また、大学の学部生を含んだ学生の自主活動であるサークル・ボランティア活動等でも建学の精神・教育理念・教育目標を活動内容に反映させている。

《Ⅱ 教育の内容》の記述及び資料等について

(1) 学科等の現在の教育課程

生活科学科 (平成21年5月1日 現在)														
科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名	
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任				
基礎科目	歴史と文化	○				2					1	18		飯島
	くらしと色彩	○				2					1	26		中川
	人間と心理	○				2					1	27		亀岡
	くらしと憲法	○				2					1	8		松原
	現代社会と経済	○				2					1	21		飯島
	くらしと統計	○				2					1	20		小林恒
	くらしと現代科学	○				2		1				17		椋沢
	情報社会とくらし	○				2					1	17		石井
	生活と社会	○				2					1	113		小野
	くらしと英会話	○				2					1	5		野中
	ことばと文化	○				2					1	18		小島
健康とスポーツ	○	○			2		1				25		中澤	

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数 (クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
専門科目	生活科学概論	○			2			1			31		橋爪
	生活活動論	○				1		1			83		中澤
	公衆衛生学	○				2				1	83		松村康
	食品学	○			2			2			31		橋本・荒井勝
	食品学実験Ⅰ			○		1		1			30		荒井勝
	食品学実験Ⅱ			○		1		1			83		橋本
	調理学	○			2			1			31		中島
	基礎栄養学Ⅰ	○			2			1			31		清水
	基礎栄養学Ⅱ	○				2				1	30		榮
	応用栄養学	○				2		1			83		中村
	栄養学実験			○		1		1			83		清水
	調理実習Ⅰ			○		2				1	31		松岡
	調理実習Ⅱ			○		2		1			83		関崎・中島
	マーケティング	○				2				1	23		飯島
	人間関係	○				2				1	23		亀岡
	臨床心理学	○				2				1	28		亀岡
	生活環境論	○			2			1			31		橋爪
	コンピュータⅠ		○			1		1			31		橋爪
	コンピュータⅡ		○			1		1			29		橋爪
	家庭経営学	○				2			1	1	2		松原・小島
	住居学	○				2				1	2		峰岸
	育児学	○				2		1			14		中村
	被服学及び実習	○		○		2		1	1		7		中川
	解剖学	○				2				1	31		今関信
	生理学	○				2				1	30		多田隈
	環境生理学	○				1				1	83		榮
	生化学	○				2				1	30		榮
	生理生化学実験			○		1				1	82		榮
	食品加工学	○				2		1			83		橋本
	食品衛生学	○				2		1			83		高橋あ
	食品衛生学実験			○		1		1			83		高橋あ
	公衆栄養学概論	○				2				1	83		細野
	臨床栄養学概論	○				2		1			30		清水
	臨床栄養学実験			○		1		1			83		清水
	臨床栄養学各論	○				1		1			4		清水
	臨床栄養学各論実験			○		1		1			6		清水
	スポーツ栄養学	○				1		1		1	10		榮
	スポーツ栄養学実習			○		1		1			9		中澤
	給食計画・実務論	○				2		1			29		中村
	校外実習			○		2		1			82		橋本
	栄養指導論Ⅰ	○			2					1	31		
	栄養指導論Ⅱ	○				2				1	30		
	学内実習			○		1		1			31		中島
	栄養情報処理演習			○		1		1		1	83		中島・石井
	栄養教諭論	○				2		1		1	1		橋本・松岡
	食育論	○				1		1			23		中村
	食育論演習		○			1		1					中村
	フードコーディネーター論	○				2		1			24		橋本
	フードスペシャリスト論	○				2		1			17		中村
	基礎ゼミ		○		1						83		中島・中村・清水・橋本・橋爪・亀岡・中澤
専門ゼミ		○		1						83		中島・中村・清水・橋本・橋爪・亀岡・中澤	
オフィスワーク	○				2				1	50		松原	
医療経営学	○				2				1	49		岩淵	
社会福祉論	○				2				1	30		笹澤	
家庭の医学	○				2				1	55		瀬野尾・今関信	
医療保険実務		○			3				1	54		岩淵	

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
教職に関する科目	教師論	○					2	1			7		梶沢
	教育学	○					2			1	4		大和田
	教育学	○					1			1	2		大和田
	教育心理学	○					2			1	3		亀岡
	家庭科教育法	○					2				1		林
	道德教育研究	○					1	1					橋爪
	教育方法論	○					1			1			石井
	教育課程及び教育方法論	○					1			1	12		大和田
	道德教育及び特別活動の研究	○					1	1			12		橋爪
	生徒指導論	○					2			1	1		田口
	生徒指導論	○					1			1	12		木村
	教育相談	○					2			1	12		佐久山
	総合演習		○				2	1			12		橋爪
	事前・事後指導	○					1			1	1		田口
	教育実習			○			4			1	1		田口
介護等体験実習(事前事後指導を含む)			○			1			1	3		田口	
栄養教育実習	○					1	1			12		橋本	
栄養教育実習			○			1	1			12		橋本	

アート・デザイン学科

(平成21年5月1日)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
基礎科目	英会話	○				2				1	34		野中
	日本語表現	○				2		1			61		小島
	心理学	○				2				1	68		亀岡
	日本国憲法	○				2				1	43		松原
	くらしと経済	○				2				1	33		飯島
	くらしと数学	○				2				1	26		小林恒
	メディアと情報	○				2				1	63		石井
	生活と環境	○				2				1	65		橋爪
	健康とスポーツ	○	○			2				1	42		中澤
	コンピュータ基礎演習Ⅰ		○			1				1	37		マチャコン
コンピュータ基礎演習Ⅱ		○			1				1	26		マチャコン	
専門科目	デザイン基礎		○			2		1			69		松村
	絵画基礎		○			2		1			65		松村
	工芸基礎		○			2		1			70		久保田
	立体造形基礎		○			2				1	72		森村
	デザイン		○			2		1			70		松村
	インテリアⅠ		○			4		1		1	10		山本・竹中
	インテリアⅡ		○			4		1		1	10		山本・竹中
	インテリアⅢ		○			4		1		1	—		山本・竹中
	インテリアⅣ		○			2				1	—		竹中
	グラフィックⅠ		○			4		1		1	20		小松原・三関
	グラフィックⅡ		○			4		1		1	20		小松原・三関
	グラフィックⅢ		○			4		1		1	—		小松原・三関
	グラフィックⅣ		○			2				1	—		三関
	ファッションⅠ		○			4		1		2	5		久保田・新野見・石井
ファッションⅡ		○			4		1		2	5		久保田・新野見・石井	
ファッションⅢ		○			4		1		2	—		久保田・岩田・石井	
ファッションⅣ		○			2		1		1	—		岩田	

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数 (クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
専門科目	マンガ・アニメ I		○			4		2			11		石黒・大日向
	マンガ・アニメ II		○			4		1		1	10		大日向・吉沢
	マンガ・アニメ III		○			4		1		1	—		大日向・吉沢
	マンガ・アニメ IV		○			2		2			—		石黒・大日向
	絵画・イラスト I		○			4		2			26		石黒・小松原
	絵画・イラスト II		○			4		2			25		石黒・小松原
	絵画・イラスト III		○			4		2			—		石黒・大日向
	絵画・イラスト IV		○			2		1			—		石黒
	模型制作		○			2				1	—		峰岸
	家具デザイン		○			2				1	—		峰岸
	インテリア CAD		○			2		1			10		峰岸
	スペースデザイン		○			2		1			—		山本
	環境デザイン		○			2		1			—		山本
	WEB デザイン I		○			2				1	—		相馬
	WEB デザイン II		○			2				1	—		相馬
	広告イラストレーション		○			2		1			20		石黒
	絵本制作		○			2				1	—		中村真
	写真表現		○			2		1		1	—		大日向
	ファッション技法		○			2		1			5		久保田
	トータルファッション		○			2		1		2	—		久保田
	舞台衣装 I		○			2				1	—		新野見
	舞台衣装 II		○			2				1	—		新野見
	ファッション CG		○			2				1	—		岩田
	コミックイラストレーション		○			2		1			—		石黒
	フィギュア・オブジェ制作		○			2				1	—		森
	映像表現		○			2				1	—		大澤・溝渕
	デジタルコミック		○			2		1			10		小松原
	3D - CG		○			2				1	—		大澤・溝渕
	CGイラストレーション		○			2		1			—		小松原
	キャラクターデザイン		○			2		1			—		大日向
	版画技法		○			2		1			—		松村
	絵画表現		○			2				1	25		岡
	ワークショップ・芸術教育		○			2				1	—		小松原藤
	空間演出論	○				2				1	69		楯
	デザイン史	○				2		1			67		山本
	ユニバーサルデザイン論	○				2		1			—		山本
	コミュニケーション論	○				2		1			46		山本
	くらしのデザイン論	○				2				1	—		峰岸
	美術解剖学	○				2		1			65		杉戸
	美術史	○				2		1			57		松村
	コミック・アニメ文化論	○				2		1			72		石黒
	現代アート論	○				2		1			68		大日向
映像論	○				2		1			—		大日向	
色彩学	○				2				1	72		中川	
インターンシップ	○				2		2			—		久保田・小松原	
芸術研修	○				2		1			—		石黒	
卒業制作		○			6					—		杉戸・石黒・久保田・松村・小松原・山本・大日向	

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
教職に関する科目	教師論	○					2		1		6		椛沢
	教育学	○					2			1	8		大和田
	教育心理学	○					2			1	8		亀岡
	美術科教育法	○					2	1			6		杉戸
	道德教育研究	○					1		1		6		橋爪
	教育方法論	○					1			1	—		石井
	生徒指導論	○					2			1	8		田口
	教育相談	○					2			1	6		佐久山
	総合演習		○				2			1	6		橋爪
	事前・事後指導	○					1			1	—		田口
	教育実習			○			4			1	—		田口
介護等体験実習(事前事後指導を含む)			○			1			1	—		田口	

看護学科

(平成21年5月1日)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
看護専門科目	在宅看護実習			○	2			1			89		棚橋
	成人看護学実習Ⅰ			○	4			1		1	90		林・佐藤栄
	成人看護学実習Ⅱ			○	4			1		1	89		林・佐藤栄
	老年看護学実習			○	4			1		1	89		西沢・福島
	小児看護学実習			○	2			1			89		内山
	母性看護学実習			○	2			1			89		石沢
	精神看護学実習			○	2			2			89		田邊・荒井

専攻科助産学専攻

(平成21年5月1日)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考	教員名
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
基礎領域	助産学概論	○			1					1	29		今関せ
	人間の性・生殖	○			1					1	29		隅田
	妊娠・分娩・産褥の生理	○			1					1	29		隅田
	妊娠・分娩・産褥の病態	○			1					1	29		山口
	新生児・乳幼児の生理と病態	○			1					1	29		針谷
	母子の健康科学Ⅰ	○			1					3	29		竹下・岸・宮崎
	母子の健康科学Ⅱ	○			1					2	29		内藤・佐藤
	母性・父性の心理・社会学	○			1				1	1	29		本多・山上
実践領域	助産診断・技術学Ⅰ		○		1			1			29		濱寄
	助産診断・技術学Ⅱ		○		3			3			29		鈴木・濱寄・森島
	助産診断・技術学Ⅲ		○		3			3	1		29		鈴木・本多・濱寄・森島
	助産診断・技術学Ⅳ		○		1			2		1	29		今関せ・鈴木・濱寄
	地域母子保健	○			1					1	29		錦織
	助産管	○			1					1	29		今関せ
	助産診断学・助産技術学実習			○	9			2	1	1	29		鈴木・本多・濱寄・森島
	助産業務管理実習			○	1				1		29		本多
総合領域	地域母子保健実習			○	1			2	1	1	29		鈴木・本多・濱寄・森島
	助産学研究		○			1		3	1	1	29		今関せ・鈴木・本多・濱寄・森島
	情報管理	○				1				1	29		石井
	助産学特論		○			1		1			29		鈴木

(2) 教育の取組、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員配置等についての特記事項

各学科とも、主要な科目の多くを専任教員が担当しているが、基礎科目と専門科目の一部を兼任教員が担当している。平成20年度から生活科学科及び看護学科所属の教員が桐生大学医療保健学部に移籍したため、表面上は兼任教員の担当科目が増加した。

アート・デザイン学科の実技系の科目については、専門技術を要するため教育効果を考慮し、兼任教員を配置している。

(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格。また、教育課程に関係なく取得できる免許・資格等と履修方法。

①教育課程を履修することにより取得可能な免許・資格

学 科	取得可能な免許・資格
生活科学科	栄養士(栄養士養成課程) 中学校第2種免許状(家庭) 栄養教諭2種免許 医事管理士・医療事務士・医療管理秘書士 ピアヘルパー フードスペシャリスト 環境マネージャー
アート・デザイン学科	中学校第2種免許状(美術) 環境マネージャー
看護学科	看護師国家試験受験資格
専攻科助産学専攻	助産師国家試験受験資格 幼児安全法支援員 受胎調節実地指導員

②教育課程に関係ない免許・資格名及び履修方法

資格・検定は授業において支援を行っているが、資格取得希望者は学校を通じて手続きをして受験している。

学 科	資 格 名
アート・デザイン学科	カラーコーディネーター検定 商品装飾展示技能士 CGクリエイター検定 レタリング技能検定 商業施設士補

(4) 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等でどのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等。

①選択科目の指導

入学後に新入生全員に、「学生ハンドブック」を参考にして大学の授業概要、卒業要件など学習面及び生活全般にわたる共通事項についてオリエンテーションを行っている。その後、クラス毎に「履修要項」等に基づき、履修方法等についてのガイダンスを行っている。

②時間割上の工夫

時間割は、教務委員会において調整が行われている。教育効果を考慮し、カリキュラムの配置だけではなく、時間割上も講義と演習・実習・実験科目との配置において、偏らないようにしている。選択科目については、重複することはないので、希望する学生はすべての選択科目を履修可能である。

(5) 卒業要件単位数及びその他の卒業要件(必要単位の修得、学生納付金の納付等)。また、学生に卒業要件を周知させる方法。

①卒業要件

卒業については、学則第23条に定めるところの単位を修得した者には、学長は教授会の議を経て卒業を認定し、短期大学の学位を授与する(学則第24条)に規定されている。

卒業要件の単位数は、生活科学科、アート・デザイン学科では、2年以上在学し、次に定める単位を修得するものとする。

生活科学科は、基礎科目は12単位以上、専門科目は必修科目、選択科目合わせて50単位以上、かつ、総計で62単位以上である。アート・デザイン学科は、基礎科目は8単位以上、専門科目は必修科目、選択科目合わせて54単位以上、かつ、総計で62単位以上である。

看護学科では、3年以上在学し、次の各項に定める単位を修得するものとする。看護基礎科目は必修科目36単位、選択科目3単位以上、計39単位以上。看護専門科目は、必修科目59単位、選択科目3単位以上、計62単位以上である。

専攻科助産学専攻は、必修科目33単位、選択科目3単位である。

学生納付金の内、授業料、施設費、校費、実験実習費、図書費は、学則第44条、専攻科は第53条の6で規定されているが、卒業要件として学納金に関する規定はないが、「成績評価規程」において、学費の納入がない者について単位認定をしない旨の規定がある。したがって、卒業要件として学費の納入が求められる。

以上の卒業要件に関しては、学則、履修要項を含め詳細に記載し学生への周知を図っている。

②学生への周知方法

入学直後のオリエンテーションや前・後期開始時に卒業要件を提示し周知徹底を図っている。履修が個人によって異なるので、学生便覧のほかに履修の手引き(履修科目一覧表含む)を作成し学生の履修管理を行っている。履修の管理は、学生個々が自主管理するよう指導しており、学期末に配布される成績表は教務課窓口で学生自身が受け取り、それにより単位修得状況の確認と卒業要件の再確認を行っている。

(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状

学園として大学設置を計画しており、大学設置計画の中で、短期大学の構成・教育課程の見直しを検討している。

【授業内容・教育方法について】

(1) シラバスあるいは講義要項を作成する際に配慮していること等

学年当初に配布する講義要項でカリキュラムの全体像を把握し、各授業開始時に配布されるシラバスで各教科の具体的内容を把握するという目的で作成している。

講義要項は前期当初のクラスオリエンテーション開催時にクラス担任から配付し、履修登録の際の説明資料として利用としている。シラバスは、教科担当が初回授業時に配付し授業計画を説明する際を使用している。

シラバスの内容については、教務委員会及び学科ごとで検討することとなっているが、シラバス提出後の検討とならざるを得ない。教務委員により指摘された問題点は、各教科担当の改善努力に委ねられているのが現状である。

◇シラバスのフォーマット(平成20年度)

科目名	担当者	学科	開講期	後期
区分	単位 (時間)	学年	曜日	時限
講義の 概及 目的				
成 績 評 価				
講 義 計 画				
回	主 題	内 容		
第1回				
第2回				
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
教科書				
参考書				
履修の ポイント				
備 考				

【教育改善への努力について】

(1) 学生による授業評価の概要

学生による授業評価は、平成12年度以後、学期末に毎年度実施している。平成20年度は、大学設置にあわせて、これまでの評価項目について、教務委員会で検討した。その結果、多くの学生が適切に評価しうる項目数に質問事項を限定し、全10項目の質問とした。

評価の実施方法は昨年度までと同様に、各期の授業の最終回にマークシートを配布して、実施している。評価項目は、内容は「学生自身について」、「教員について」、「教科について」の3領域にわたって評価するようにした。

集計結果は、各科目についての評価項目ごとにグラフ化された表と、マークシート用紙(現物)を各教科担当に渡している。表と自由記述のコメントを各教員が授業改善に役立てるよう、教授会・全体会議等で奨励している。

授業評価アンケート

必ずH10の黒鉛筆でマークしてください。
折り曲げないでください。

良い例 ● 悪い例 ○

このアンケートは今後の授業改善に役立てるために活用しますので、あなたがどう感じたか率直に慎重な授業評価をしてください。回答内容は成績に無関係であり、あなたに不利益になることはありません。各質問に対しては、5段階評価となっていますので自分の評価に対する番号をマークしてください。

授業科目名	
担当教員名	

科目コード	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

【授業への取り組みについての自己評価】

1. この授業にどの程度準備をして(予習復習、シラバスを読む、等)臨んでいますか。準備の度合いを5段階で評価してください。

←不十分 → 十分
① ② ③ ④ ⑤

2. この授業に対する、あなたの取り組みを5段階で評価してください。

←低い → 高い
① ② ③ ④ ⑤

【授業内容・方法の評価】

3. 講義概要(シラバス)に沿って授業が行われていますか。

←いない → いる
① ② ③ ④ ⑤

4. この授業の教材(テキスト、資料、視聴覚教材、等)は、よく準備されていると思いますか。

←思えない → 思えた
① ② ③ ④ ⑤

5. 教員の教授法(説明、話し方、板書、速度など全般)は適切ですか。

←不適切 → 適切
① ② ③ ④ ⑤

6. 教員は授業に集中できるように配慮している(私語の防止等)と思いますか。

←思えない → 思えた
① ② ③ ④ ⑤

7. 教員は学生に公平に接していると思いますか。

←思えない → 思えた
① ② ③ ④ ⑤

【授業の全般的印象】

8. 授業に対する教員の意欲や熱意を感じますか。

←感じない → 感じた
① ② ③ ④ ⑤

9. この授業を受けてこの分野への学習意欲がわきましたか。

←わかない → わいた
① ② ③ ④ ⑤

10. 授業の満足度を5段階で評価してください。

←不満足 → 満足
① ② ③ ④ ⑤

※この授業について、よかった点や改善してほしい点等をこの用紙の裏面に記入してください。

(2) 短期大学全体の授業改善(ファカルティ・デベロップメント(FD)活動等)への組織的な取り組み状況。

授業改善を含む様々な教育能力向上のための施策を検討する委員会として、平成20年度よりFD委員会を設置した。昨年度までは、教務委員会内でFDについて検討していたが、今年度から独立した委員会を設置した。なお、他の委員会も同様であるが、短期大学の教員が大幅に桐生大学医療保健学部に移籍したため、大学と合同の委員会として設置している。

平成20年度については、新任教職員に対する研修(授業方法・改善について)、公開授業を大学と合同で実施した。

(3) 担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通についての現状。

①生活科学科

平成19年度までは、専任教員間の授業についての意思疎通は、日常的に比較的頻繁に行われていたが、平成20年度に多くの教員が医療保健学部看護学科もしくは栄養学科所属となった上で、生活科学科の兼任教員として科目担当となったので、以前よりは意思疎通がとりにくい状況が生まれている。平成20年度は、2年生が100名定員で、1年生が40名定員と、過渡期の状況であり、また大学には1年生のみが在籍であるので、大学所属の兼任教員とは、密にコミュニケーションをとるように努力し、平成20年度については問題が生じなかった。平成21年度以降、短大・大学の状況は変わるが、教員間の意思疎通については、平成20年度と同様に重視していきたいと考える。

②アート・デザイン学科

原則として毎週開催されるアート・デザイン学科定例会議を実施している。ここでは、教授会や大学運営評議会等の結果報告・連絡事項の伝達、各コースの運営状況、授業運営状況、学生の動向等について検討し、専任教員間の意思疎通をはかっている。平成19年度にカリキュラム改正を実施したが、年度末には、専任教員のみではなく、兼任教員とも協議を重ねて、カリキュラムの内容充実のための意見交換を行っている。

③看護学科

看護学科は、平成20年度から短期大学については募集停止となり、新入生は大学の看護学科に入学することとなったため、大学には1年生が在籍し、短大には2・3年生が在籍するという状況になっている。教員も短期大学所属教員と大学所属教員に別れることとなった。しかし、平成21年度までは、所属に関わらず一体で大学・短大の学生の指導を行っていかねばならないので、月1回の学科連絡会議は、大学・短大の看護学科所属教員が全員参加するような連絡会議にしている。

また、平成19年度と同様、看護の領域ごとに定期的および臨時に会議をもち、授業案や指導内容について検討を行っている。特に、技術演習前には单元ごとに必ず打ち合わせを実施している。看護学担当教員と基礎科目、専門基礎科目の担当教員間では、シラバスを活用すると共に、必要時には直接連絡を取り合い、授業内容の確認、調整を行っている。この他に、前後期末には、臨地実習を中心に学生の履修状況について情報交換と、指導方針の検討・確認を行っている。臨地実習については教員と病院・施設の実習指導者と日常的に連携を深めつつ、実習の開始・終了時に打ち合わせと反省会を実施している。

④専攻科

専攻科教員は少数であり、担当授業数が多いので、年当初の担当科目間の内容調整を綿密に行う他、学生の反応も考慮して会議の都度確認しながら調整している。

兼任講師との打ち合わせについても、授業開始の前に行い、内容調整を図っている。

【特記事項について】

(1)教育の内容について、学科等で努力していること。

①科目等履修生

学則第52条に規定されているとおり、当該授業の授業に支障のない限り、選考のうえ科目等履修生をととして受け入れている。

②海外研修

学生に国際感覚を養うとともにコミュニケーション能力を磨くために海外研修を実施している。

- ・生活科学科/アート・デザイン学科 〈イタリア/ローマ〉9月
- ・看護学科 〈オーストラリア/シドニー〉9月

《Ⅲ 教育の実施体制》の記述及び資料等について

【教員組織について】

(1) 現在の専任教員等の人数

専任教員等の人数

(平成21年5月1日現在)

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	〔ハ〕	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	〔イ〕	〔ロ〕			
生活科学科	2	1	3		6	5 (2)	—	2		
アート・デザイン学科	3	1	3		7	7 (3)	—	1		
(小計)	5	2	6		13	12 (5)	—	3		
〔ロ〕	1		3		4	—	3 (1)			
(合計)	6	2	8		17	12 (5)	3 (1)	3		

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	〔ハ〕	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	〔イ〕	〔ロ〕			
専攻科 (助産学専攻)		1	1	1	3	—	—	1		保健師助産師看護師学校指定規則では、助産師資格3名が要件

学科等名	専任教員数					設置基準		助手	〔ハ〕	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	〔イ〕	〔ロ〕			
看護学科		2	7		9	—	—	—		学生募集停止のため設置基準は該当なし

(2) 教員の採用、昇任が適切に行われている状況

「教員資格審査委員会規程」「非常勤教員採用規程」により、教員の昇格・採用が行われている。また、新任教員の採用にあたっては、次年度の授業担当状況等を考慮し、年複数回の採用を行っている。その手順は原則として、該当学科長より候補者があげられ、提出書類(履歴書、研究業績書等)を検討した上、面接を行う。面接は、任命権者、所属長、部長等の複数名により行われる。内定は前述の面接者の協議により決定され、任命権者名で郵送される。候補者より関係書類(就任承諾書等)の提出がなされて採用となる。正式な採用は該当年度の4月1日付の辞令をもって行われる。

(3) 教員の年齢構成の現状

専任教員等の年齢構成表(短期大学全体で作成)
(年齢は平成21年5月1日現在)

区分	年齢ごとの専任教員数(助教以上)							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	平均年齢		
合計人数 (26人)	2	4	10	7	3	—	52.2	30.1	
割合	8.0%	16.0%	40.0%	28.0%	12.0%	—			

区分	年齢ごとの専任教員数(助教以上)							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	平均年齢		
合計人数 (3人)	—	—	2	1	—	—	44		
割合	—	—	66.7%	33.3%	—	—			

(4)専任教員の(a)授業、(b)研究、(c)学生指導、(d)その他教育研究上の業務に対する取組状況とその傾向

- ①授業に対する取組み
平成20年度は大学設置に伴う、定員減、教員の移動等の影響で、教育を実施する環境が大幅に変化したが、専任教員の授業に対する意識は高く、意欲的に取り組んでいる。若手教員(准教授、講師)は年間の授業時間数も多く、他の分掌も多いが授業については、精力的にこなしている。平成20年度については、生活科学科は、1年生が1クラスで、2年生が40名2クラスで授業を行うため、過渡期の状況にあるが、特に大学の栄養学科所属の多くの教員が兼任講師として担当しているため、混乱なく実施することができた。アート・デザイン学科は、そうした影響を受けることはなかったが、少人数授業の影響で相変わらず時間数が多くなりがちである。設備を充実させているので、改善に向かってはいるが、カリキュラム検討の際には、教員の具体的な担当時間・使用教室についての詳細なシミュレーションが必要と考える。看護学科では、平成20年度は、2・3年生、平成21年度は、3年生のみの所属であり、大学は平成20年度入学生からの受け入れであるので、臨地実習の時間数が多いが、教員数も増えたため、現状では余裕がある状態である。
- ②研究に対する取組み
平成20年度の大学設置の影響を受け、意欲的に研究に取り組む姿勢が見られる。それには、大学の研究条件に短期大学も準ずることで、研究環境が改善されたことが原因であると考え

る。ただ、教員によっては、日常の学生指導やその他の業務に追われ、十分な研究時間がとれない教員もいる。それらの教員は、学生の長期休暇期間を利用して研究に励んでいる。偏りをなくすよう、教員の教育・研究活動等の報告を受け、検討していきたい。

③学生指導に対する取組み

本学では以前より、クラス担任制をとっており、担任は副担任と協力して学生の生活面、履修指導、資格指導、就職・進学など学生生活全般の指導にあたっている。さらに学科長がおり、学生の身の回りに生じる諸問題に対して担任とともに解決にあたっている。今年度も同様の体制であるが、生活科学科は、定員が100名から40名となったため、担任・副担任の目が十分に行き届くこととなった。

学科会議では、これまで同様学生の状況や指導について話し合う機会を設けて、共通理解を図っている。学生の動向は、教員がかなりの程度把握しており、学生支援の意識はきわめて高い。

進路指導については、就職担当によって就職活動への取組み方、試験対策、マナー講座などを企画し指導しているが、個々への対応は、担任と就職担当が連携して就職内定まで支援している。

短期大学全体としては、学生課が中心となって健康管理指導、防犯指導、奨学金の相談、サークル活動、学園祭等の学生支援活動に対し全学的にサポートしている。

④その他教育上の業務に対する取組み

本学では、各種資格取得を支援しており、授業外にも受験対策講座、国家試験対策補習(看護学科)を開くなど、多くの教員が多種の資格の受験指導にあたっている。

(5)助手、副手、補助職員、技術職員等配置状況。また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているか。

昨年同様、設置規準や関係法規に合致した助手の数が配置されており、実際の運営上も過不足はない。ただし、看護学科については助手が配置されていないが、大学と一体で運営しているので、所属上はいいないが、大学に十分な助手が配置されているので全く問題はない。

また、本学の助手・副手は授業実習の補助のみでなく、教務事務を含めたクラス担任補助、さらには学生指導に至るまで多くの業務をこなしている。研究活動はこれまでと同様学生の休暇時が中心であるが、十分に研究活動が可能な環境である。

【教育環境について】

(1) 校舎・校地一覧表

校舎・校地一覧表

(平成21年5月1日現在)

区分	収容定員	校舎			校地		
		基準面積	現有面積	差異	基準面積	現有面積	差異
桐生大学短期大学部	200人	3,650.00 m ²	7,961.81 m ²	4,311.81 m ²	2,000.00 m ²	26,463.74 m ²	24,463.74 m ²
桐生大学	600人	8,924.00 m ²	14,942.44 m ²	6,018.44 m ²	6,000.00 m ²	33,444.37 m ²	27,444.37 m ²

※ 校舎の現有面積は、それぞれ共用部分6,296.18m²を含む
校地の現有面積は、それぞれ共用部分24,798.11m²を含む

桐生大学短期大学部基準校舎面積=家政関係 2,000m²(別表第2イ) + 美術関係 1,650m²(別表第2ロ)
桐生大学短期大学部基準校地面積=200人 × 10m²

桐生大学基準校舎面積=家政関係 4,263.6m²(別表第3イ) + 保健衛生学関係(看護学関係) 4,660.4m²(別表第3ロ)
桐生大学基準校地面積=600人 × 10m²

(2) 教育研究に使用する情報機器を設置するパソコン室、マルチメディア室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況(機種、台数を含む)及び使用状況

生活科学科は、主に4号館・9号館の教室を使用しているが、9号館の3階にはコンピュータ演習室が、2階には語学演習室(CALL教室)が整備されており、大学、アートデザイン学科と共同で利用している。コンピュータ演習室はWindowsコンピュータが41台設置されており、授業支援システムを活用しながら主に情報リテラシー教育をおこなっている。また語学演習室はWindowsコンピュータ47台が設置されており、CALLシステムを活用した英語の授業がおこなわれている。

アート・デザイン学科校舎の1階と3階にはCG教室があり、Macintoshコンピュータが1階に17台、3階に24台設置されている。ここでは主にグラフィックソフトを使用した演習がおこなわれている。その他にも貸出用のノート型Macintoshコンピュータが20台あり、課題が自宅等で進められる。

看護学科・専攻科については、10号館(看護学科棟)2階のOA教室にあるWindowsコンピュータ(51台)を使用して情報管理の授業をおこなっている。

なお、これらの演習室を授業で利用していない時間帯は、学生に開放している。また図書館の情報コーナーにはWindowsコンピュータが18台あり、学生は自由に利用できる環境がある。

また全教室で、学内LANに接続できる環境あり、一部の教室には無線LANに接続できる環境もある。

(3) 授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム(管理の状況、整備計画等を含む)の概要

生活科学科の講義やアート・デザイン学科の一部の講義に利用している4号館、9号館のすべての講義室にはプロジェクタとスクリーン、コンピュータが設置されており、またホワイトボードやマイク(一部はワイヤレス)なども多くの講義室で整備されている。教室の管理は教務課で、プロジェクタ、コンピュータ機器についてはメディア情報センターで管理をおこなっている。

またアート・デザイン学科の教室にはAV機器や書架カメラなども設置されている。

(4) 校地、校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等

校地、校舎について、危険な箇所は、管理課による定期点検等で対応している。また、校舎内へは、学生の自動車の乗り入れは原則として禁止しており、また教員の通勤時の乗用車及び特別な許可車両以外が、学内に乗り入れられることはない。

11号館および図書館(2号館)にはエレベーターが設けられ、障害者対応のトイレも設置されている。

運動については、学生は体育館を利用して授業やサークル活動を行っている。

学生の休憩場所としては、11号館1階のレストラン等のスペース、9号館1階の試食スペース(第二試食室)がある。

【図書館・学習資源センター等(以下「図書館等」という。)について】

(1) 図書館等の概要(全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含む)

① 配置図

今年度より、2号館を本館として運営を開始したため、図1、2の配置が新たに加わった。

図1 本館1階（2号館）

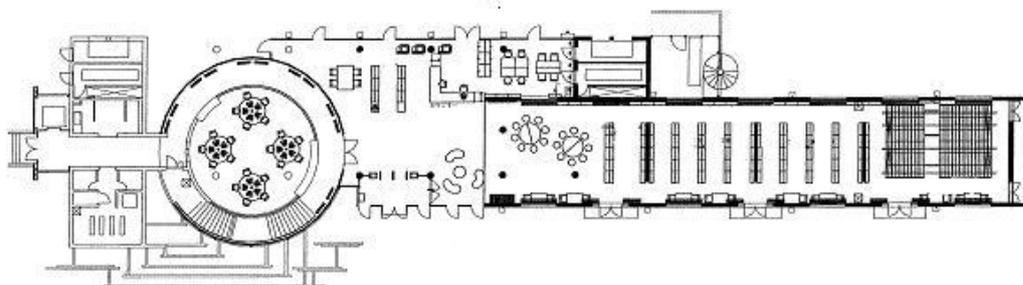


図2 本館2階（2号館）

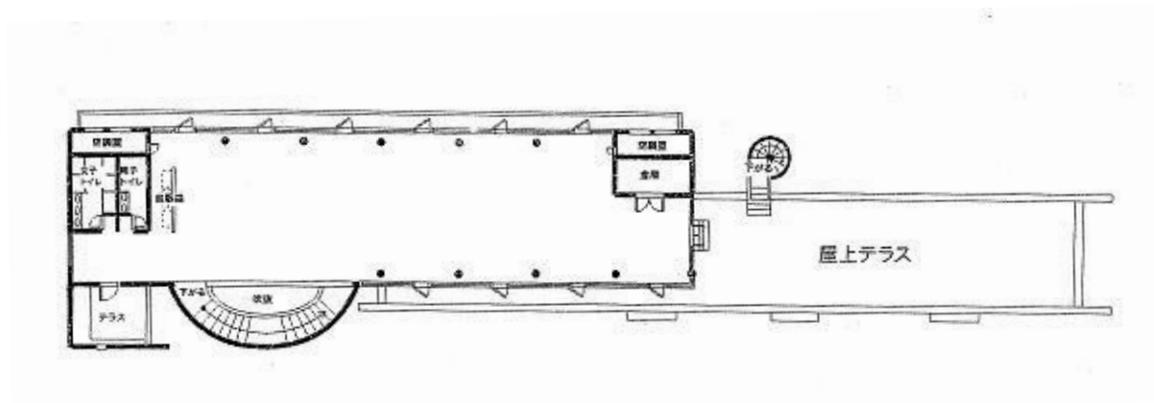
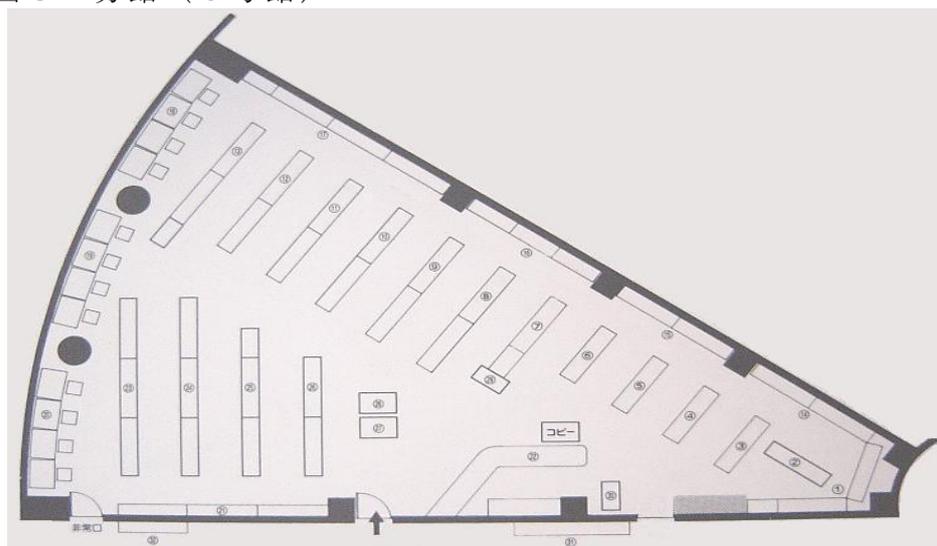


図3 分館（9号館）



② 座席数 300席

今年度は、開館日1日あたり平均112人の学生が利用した。この数値から座席数に問題ないと判断できる。

③ 図書購入予算

学生数×5,000円を図書購入予算枠としている。

今年度の学生数は590名であることから、 $590 \times 5,000 = 2,950,000$ 円が予算となる。また、今年度は、2,806,143円を図書館資料購入のために使用した。

④ 図書選定システム

桐生大学・桐生大学短期大学部図書館 図書管理細則に基づき、一般図書、参考図書、専門図書及び視聴覚資料を選定し購入している。図書館が収集する図書の選定は、購入希望のあった下記に記すものについて、予算の有無等を考慮し、館長が行う。

1. 教職員が希望するもの
2. 学生が希望するもの
3. 図書館職員が希望するもの

年2回の締切日进行購入計画を行い、一括で購入する。その他、教員が個人の研究費で購入する図書については、研究図書として登録し、各研究室にて管理している。

⑤ 図書廃棄システム

桐生短期大学図書館図書管理細則に基づき、下記の項目に該当する資料について、除籍、廃棄を行う。

1. 紛失確認後4年を経過したもの。
2. 破損、汚損、消耗等の度が甚だしく、補修不能と認められるもの。
3. 図書として利用価値を失ったと認められるもの。
4. その他、館長が除籍を適当と認めたもの。

また、一般大衆誌（流行ファッション誌等）については、バックナンバーを過去1年間保管し、それ以前については自動的に除籍を行う。除籍を行った資料に関しては、リサイクルコーナーに配置し、1ヶ月経過してもリサイクルコーナーに残ったものを廃棄する。

⑥ 司書数

図書館の司書数は2人である。

⑦ 情報化の進捗状況

平成20年度より、OPAC (Online Public Access Catalogue) によるインターネットからの蔵書検索が可能となっている。

また、学内LAN接続のPCより、各種データベース・電子ジャーナルを利用することが可能となっている。

(2) 図書館に備えられている蔵書数(和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等)

① 図書館蔵書数一覧 (平成21年5月1日現在)

区分	和書	洋書	学術雑誌	AV資料
冊(種)	39,031 冊 (21,836冊)	4,329 冊 (3,114冊)	143 冊	1,137 点

※() 内は蔵書管理システム登録冊数

② 図書館の蔵書数、学術雑誌数、視聴覚資料数の在籍学生数に対する比率

a. 蔵書数 43,360冊 (今年度受入 7,251冊)

今年度の学生数は590名であることから、蔵書数の比率は学生1人あたり約73.5冊である。また、学生1人あたり約12.3冊の資料を受け入れたことになる。

b. 学術雑誌数 143タイトル

生活科学科関連:19, アート・デザイン学科関連:11

看護学科関連:53, 助産学専攻科関連:8

栄養関連:52

c. 視聴覚資料数 1,137 (VHS:837、DVD:300)

視聴覚資料数の比率は学生1人あたり約1.9本であり、今年度は272点の視聴覚資料を新規に受け入れた。

(3) 学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書等の整備状況。および学生の図書館等の利用の現状。

① 各学科に関連した図書、参考図書および一般図書

本学の主たる教育分野の栄養学、芸術、看護学に関しては、蔵書数の半数近くを占めており(蔵書管理システムデータにおける)、問題なく整備されていると判断できる。

② 図書館の利用状況

a. 基本データ

(平成21年5月1日)

項 目	平成20年度	平成19年度
来館者数(人)	25,585	9,422
学生貸出利用回数(回)	2,204	1,891
学生貸出利用冊数(冊)	5,358	4,238
教職員貸出利用回数(回)	329	189
教職員貸出利用冊数(冊)	932	484
学外者文献複写利用状況(件)	5	0
学外者文献資料閲覧利用状況(件)	30	4

上記表の通り、今年度は図書館の利用が大幅に増加した。これは、今年度より2号館を新図書館として、蔵書も増やし新たな運営を始めた影響ではないかと考えられる。

b. メディカルオンライン利用状況

期 間	文献参照数(回)	文献参照数(回)
	平成20年度	平成19年度
4月 1日 ~ 5月20日	142	-
5月21日 ~ 6月20日	199	-
6月21日 ~ 7月20日	64	-
7月21日 ~ 8月20日	144	-
8月21日 ~ 9月20日	108	-
9月21日 ~ 10月20日	106	110
10月21日 ~ 11月20日	471	187
11月21日 ~ 12月20日	663	91
12月21日 ~ 1月20日	108	59
1月21日 ~ 2月20日	94	101
2月21日 ~ 3月20日	144	23
3月21日 ~ 3月31日	2	6
合 計	2,245	577

上記表の通り、メディカルオンラインの利用状況を示す。昨年度に比べ、今年度の利用は大幅に増加した。これは、図書館ガイダンス等で周知した結果によるものと考えられる。

③ 司書のスキルアップ

下記研修会等への参加

- ・5月 NACSIS-ILL講習会(東京都) 7月 NACSIS-CAT講習会(東京都)
- ・9月 群馬県大学図書館研究会(群馬県)
- 3月 群馬県大学図書館研究会(群馬県)

(4) 図書館等からの学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について

① 情報発信

学内へは、スケジュール等を学内掲示板に掲示し、学外へは、スケジュールや学外者への利用案内を大学ウェブサイトに掲載している。

② 他の図書館との連携

本学は、群馬県大学図書館協議会に加盟しており、県内の大学図書館との協力体制が整っている。その協議会は団体会員として群馬県図書館協会に加盟しており、県内の公共、高等学校、小中学校、専門学校図書館との協力体制も整っている。

また、本年度よりNACSIS-ILLへ加入し、全国の大学と相互協力を行う体制が整った。

③ 相互利用

(平成21年3月31日現在)

項目	平成20年度	平成19年度
現物貸借[借受] (件)	29	8
文献複写[取寄] (件)	250	70
文献複写[提供] (件)	5	1

今年度は全体の利用が大幅に増加した。これは、4年生大学となり、教員数が増加したことによる影響ではないかと考えられる。

【特記事項について】

教育の実施体制において、特に努力していること(例:外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等)

各教員が学長に教育研究学生指導等報告書を提出し、教員として関わるすべての領域について、自己点検・評価を実施している。

《IV 教育目標の達成度と教育の効果》の記述及び資料等について

【単位認定について】

(1) 「単位認定の状況表」(単位認定の方法と評価の実態)

※平成20年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成。

生活科学科 健康栄養コース

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	歴史と文化	講義	75	筆記	88%	5%	93%	5%	32%	47%	9%	7%
基礎	くらしと色彩	講義	56	筆記	88%	4%	91%	0%	2%	61%	29%	9%
基礎	人間と心理	講義	66	筆記	94%	3%	97%	18%	56%	17%	6%	3%
基礎	くらしと憲法	講義	33	筆記・課題	94%	0%	94%	6%	58%	30%	0%	6%
基礎	現代社会と経済	講義	68	筆記	93%	0%	93%	25%	54%	12%	1%	7%
基礎	くらしと統計	講義	7	筆記・課題	100%	0%	100%	14%	29%	43%	14%	0%
基礎	くらしと現代科学	講義	42	筆記・課題	84%	9%	93%	14%	21%	40%	19%	7%
基礎	情報社会とくらし	講義	73	課題	96%	1%	97%	8%	86%	1%	1%	3%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修等含)	講義	83	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
基礎	くらしと英会話	講義	41	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	20%	66%	15%	0%
基礎	ことばと文化	講義	33	筆記	73%	6%	79%	0%	0%	52%	27%	21%
基礎	健康とスポーツ	講義 実技	48	課題	92%	0%	92%	19%	50%	23%	0%	8%
専門	生活科学概論	講義	87	筆記	98%	1%	99%	8%	47%	37%	7%	1%
専門	生活活動論	講義	83	筆記・課題	98%	2%	100%	1%	31%	59%	8%	0%
専門	公衆衛生学	講義	83	筆記・課題	87%	13%	100%	0%	5%	58%	37%	0%
専門	食品学	講義	87	筆記	85%	11%	97%	0%	22%	49%	25%	3%
専門	食品学実験 I	実験	83	筆記・課題	84%	16%	100%	12%	28%	28%	33%	0%
専門	食品学実験 II	実験	85	筆記・実技・課題	94%	5%	99%	5%	18%	60%	16%	1%
専門	調理学	講義	87	筆記・課題	85%	13%	98%	2%	29%	51%	16%	2%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	基礎栄養学Ⅰ	講義	87	筆記	92%	5%	97%	21%	32%	26%	17%	3%
専門	基礎栄養学Ⅱ	講義	85	筆記・課題	88%	8%	96%	2%	25%	42%	27%	4%
専門	応用栄養学	講義	83	筆記	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	栄養学実験	実験	83	課題	100%	0%	100%	0%	11%	89%	0%	0%
専門	調理実習Ⅰ(前)	実習	87	筆記・課題	89%	9%	98%	1%	36%	45%	16%	2%
専門	調理実習Ⅰ(後)	実習	85	筆記・課題	94%	5%	99%	9%	52%	26%	12%	1%
専門	調理実習Ⅱ(前)	実習	83	筆記・課題	84%	16%	100%	0%	7%	63%	30%	0%
専門	調理実習Ⅱ(後)	実習	83	筆記・課題	100%	0%	100%	22%	37%	41%	0%	0%
専門	情報処理	講義	83	筆記・課題	96%	4%	100%	4%	31%	51%	14%	0%
専門	現代ビジネス論	講義	83	筆記	100%	0%	100%	1%	60%	37%	1%	0%
専門	マーケティング	講義	23	筆記	79%	0%	79%	46%	25%	8%	0%	21%
専門	人間関係	講義	23	筆記	85%	0%	85%	70%	15%	0%	0%	15%
専門	臨床心理学	講義	28	筆記	89%	0%	89%	36%	36%	18%	0%	11%
専門	生活環境論	講義	87	筆記・課題	95%	2%	98%	16%	49%	26%	6%	2%
専門	コンピュータⅠ	演習	76	課題	99%	0%	99%	58%	34%	7%	0%	1%
専門	コンピュータⅡ	演習	74	課題	99%	0%	99%	43%	43%	12%	0%	1%
専門	家庭経営学	講義	2	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	住居学	講義	2	筆記・課題	100%	0%	100%	50%	50%	0%	0%	0%
専門	育児学	講義	14	課題	82%	9%	91%	9%	45%	27%	9%	9%
専門	被服学及び実習(前)	演習	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	被服学及び実習(後)	演習	3	課題	100%	0%	100%	33%	67%	0%	0%	0%
専門	解剖学	講義	87	筆記	99%	0%	99%	41%	29%	25%	3%	1%
専門	生理学	講義	84	筆記	62%	36%	99%	0%	7%	36%	55%	1%
専門	環境生理学	講義	83	筆記・課題	100%	0%	100%	11%	41%	34%	14%	0%
専門	生化学	講義	85	筆記	91%	8%	99%	41%	32%	12%	14%	1%
専門	生理生化学実験	実験	82	筆記・課題	88%	12%	100%	54%	12%	14%	19%	0%
専門	食品加工学	講義	83	筆記	98%	2%	100%	4%	51%	41%	5%	0%
専門	食品衛生学	講義	83	筆記・課題	98%	0%	98%	2%	59%	36%	1%	2%
専門	食品衛生学実験	実験	83	課題	100%	0%	100%	0%	45%	55%	0%	0%
専門	公衆栄養学概論	講義	83	筆記	96%	4%	100%	6%	58%	36%	0%	0%
専門	臨床栄養学概論	講義	85	筆記	86%	13%	99%	6%	18%	55%	20%	1%
専門	臨床栄養学実験	実験	83	筆記・課題	98%	2%	100%	20%	46%	29%	5%	0%
専門	臨床栄養学各論	講義	4	筆記・課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	臨床栄養学各論実験	実験	6	筆記	100%	0%	100%	33%	67%	0%	0%	0%
専門	スポーツ栄養学	講義	10	筆記	100%	0%	100%	40%	60%	0%	0%	0%
専門	スポーツ栄養学実習	実験	9	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	給食計画・実務論	講義	85	筆記	87%	12%	99%	1%	40%	27%	31%	1%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	校外実習	実習	82	課題	100%	0%	100%	2%	46%	46%	5%	0%
専門	栄養指導論Ⅰ	講義	87	筆記	86%	11%	98%	3%	14%	60%	21%	2%
専門	栄養指導論Ⅱ	講義	85	筆記	92%	7%	99%	0%	34%	52%	13%	1%
専門	学内実習	実習	87	課題	100%	0%	100%	7%	55%	36%	1%	0%
専門	栄養情報処理演習	演習	83	課題	100%	0%	100%	8%	71%	19%	1%	0%
専門	栄養教諭論	講義	12	課題	100%	0%	100%	25%	75%	0%	0%	0%
専門	食育論	講義	23	課題	100%	0%	100%	13%	33%	54%	0%	0%
専門	フードコーディネーター論	講義	24	筆記	100%	0%	100%	4%	38%	42%	17%	0%
専門	フードスペシャリスト論	講義	45	筆記	98%	0%	98%	11%	78%	9%	0%	2%
専門	基礎ゼミⅠ	演習	6	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅡ	演習	8	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅢ	演習	7	課題	100%	0%	100%	0%	71%	29%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅣ	演習	6	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅤ	演習	5	課題	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅥ	演習	7	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅦ	演習	12	課題	100%	0%	100%	67%	33%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅧ	演習	6	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅨ	演習	7	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅩ	演習	5	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅩⅠ	演習	14	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅠ	演習	6	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅡ	演習	8	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅢ	演習	7	課題	100%	0%	100%	0%	86%	14%	0%	0%
専門	専門ゼミⅣ	演習	6	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅤ	演習	5	課題	100%	0%	100%	20%	80%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅥ	演習	7	課題	100%	0%	100%	43%	57%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅦ	演習	12	課題	100%	0%	100%	58%	8%	33%	0%	0%
専門	専門ゼミⅧ	演習	6	課題	100%	0%	100%	17%	67%	17%	0%	0%
専門	専門ゼミⅨ	演習	7	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅩ	演習	5	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅩⅠ	演習	14	課題	100%	0%	100%	21%	79%	0%	0%	0%
専門	オフィスワーク	演習	50	課題	98%	0%	98%	0%	51%	47%	0%	2%
専門	医療経営学	講義	49	筆記	96%	0%	96%	65%	23%	4%	4%	4%
専門	社会福祉論	講義	85	筆記・課題	99%	0%	99%	1%	75%	19%	4%	1%
専門	家庭の医学	講義	55	筆記	93%	2%	95%	11%	76%	7%	0%	5%
資格	医療保険実務	演習	54	筆記	92%	2%	94%	30%	60%	4%	0%	6%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
教職	教師論	講義	12	筆記	100%	0%	100%	42%	58%	0%	0%	0%
教職	教育学	講義	2	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育学(栄養)	講義	12	課題	100%	0%	100%	8%	92%	0%	0%	0%
教職	教育心理学	講義	24	筆記・課題	100%	0%	100%	33%	50%	17%	0%	0%
教職	家庭科教育法	講義	1	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	道德教育研究	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	教育方法論	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育課程及び教育方法論	講義	12	課題	100%	0%	100%	8%	92%	0%	0%	0%
教職	道德教育及び特別活動の研究	講義	12	課題	100%	0%	100%	0%	75%	25%	0%	0%
教職	生徒指導論	講義	1	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
教職	生徒指導論(栄養)	講義	12	課題	100%	0%	100%	17%	33%	50%	0%	0%
教職	教育相談	講義	12	課題	100%	0%	100%	0%	33%	67%	0%	0%
教職	総合演習(前)	演習	12	課題	100%	0%	100%	58%	42%	0%	0%	0%
教職	総合演習(後)	演習	12	課題	100%	0%	100%	58%	42%	0%	0%	0%
教職	事前・事後指導	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育実習	実習	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	栄養教育実習事前・事後指導	講義	12	課題	100%	0%	100%	0%	75%	25%	0%	0%
教職	栄養教育実習	実習	12	課題	100%	0%	100%	17%	75%	8%	0%	0%
教職	介護等体験実習(事前事後指導含)	実習	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%

生活科学科 ビジネスコミュニケーションコース

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	歴史と文化	講義	5	筆記	60%	20%	80%	0%	20%	40%	20%	20%
基礎	くらしと色彩	講義	5	筆記	60%	20%	80%	0%	0%	40%	40%	20%
基礎	人間と心理	講義	3	筆記	67%	33%	100%	0%	33%	33%	33%	0%
基礎	くらしと憲法	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
基礎	現代社会と経済	講義	5	筆記	100%	0%	100%	0%	20%	40%	40%	0%
基礎	くらしと統計	講義	3	筆記・課題	67%	0%	67%	0%	33%	33%	0%	33%
基礎	くらしと現代科学	講義	3	筆記・課題	67%	0%	67%	0%	0%	67%	0%	33%
基礎	情報社会とくらし	講義	5	課題	100%	0%	100%	0%	60%	0%	40%	0%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修等含)	講義	5	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
基礎	くらしと英会話	講義	2	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	50%	50%	0%
基礎	ことばと文化	講義	5	筆記	20%	0%	20%	0%	0%	0%	20%	80%
基礎	健康とスポーツ	講義 実技	5	課題	100%	0%	100%	0%	20%	40%	40%	0%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	生活科学概論	講義	5	筆記	80%	20%	100%	0%	0%	80%	20%	0%
専門	食品学	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	20%	80%	0%	0%
専門	基礎栄養学Ⅰ	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	20%	80%	0%	0%
専門	情報処理	講義	5	筆記・課題	80%	20%	100%	0%	20%	40%	40%	0%
専門	現代ビジネス論	講義	5	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	キャリアデザイン論	講義	5	筆記	100%	0%	100%	20%	60%	20%	0%	0%
専門	キャリアデザイン演習	演習	5	課題	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%
専門	会計学	講義	5	筆記	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	マーケティング	講義	5	筆記	100%	0%	100%	20%	60%	20%	0%	0%
専門	コミュニケーション論	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	20%	40%	20%	20%	0%
専門	人間関係	講義	3	筆記	100%	0%	100%	0%	67%	33%	0%	0%
専門	臨床心理学	講義	5	筆記・実技	60%	40%	100%	0%	20%	40%	40%	0%
専門	生活環境論	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	コンピュータⅠ	演習	5	課題	80%	20%	100%	0%	60%	20%	20%	0%
専門	コンピュータⅡ	演習	5	課題	80%	20%	100%	20%	20%	40%	20%	0%
専門	ビジネス文書処理(前)	演習	5	課題	80%	20%	100%	0%	40%	20%	40%	0%
専門	ビジネス文書処理(後)	演習	5	課題	80%	20%	100%	0%	40%	40%	20%	0%
専門	住居学	講義	3	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	67%	33%	0%	0%
専門	育児学	講義	3	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	被服学及び実習(前)	演習	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	社会保障Ⅰ	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	80%	20%	0%
専門	マルチメディア演習	演習	5	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅤ	演習	2	課題	100%	0%	100%	0%	50%	50%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅥ	演習	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	基礎ゼミⅩⅡ	演習	2	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅤ	演習	2	課題	100%	0%	100%	50%	50%	0%	0%	0%
専門	専門ゼミⅥ	演習	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	専門ゼミⅩⅡ	演習	2	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	インターネット	演習	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	ネットワークコミュニケーション	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	20%	20%	60%	0%
専門	コンピュータグラフィックス	演習	5	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	プレゼンテーション	講義	5	課題	100%	0%	100%	0%	80%	20%	0%	0%
専門	オフィスワーク	演習	4	課題	100%	0%	100%	0%	25%	50%	25%	0%
専門	ビジネス英語(後)	演習	4	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	75%	0%	25%	0%
専門	地域政策	講義	2	課題	100%	0%	100%	50%	50%	0%	0%	0%
専門	医療経営学	講義	5	筆記	100%	0%	100%	20%	80%	0%	0%	0%
専門	社会福祉論	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	40%	60%	0%	0%
専門	社会保障Ⅱ(介護保険論)	講義	5	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	家庭の医学	講義	5	課題	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	介護Ⅰ	講義	5	課題	80%	0%	80%	0%	40%	40%	0%	20%
専門	介護Ⅱ	講義	5	課題	80%	0%	80%	0%	80%	0%	0%	20%
専門	介護技術	実技	3	実技	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	介護実習	実習	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
資格	医療保険実務	演習	5	筆記	80%	0%	80%	0%	60%	0%	20%	20%

アート・デザイン学科 インテリアデザインコース

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	美術理論及び美術史①	講義	10	筆記	60%	0%	60%	0%	10%	30%	20%	40%
基礎	コミック文化論①	講義	10	筆記	90%	10%	100%	0%	20%	50%	30%	0%
基礎	インターネット①	講義	4	筆記・課題	100%	0%	100%	25%	50%	25%	0%	0%
基礎	英会話①	講義	11	筆記・課題	91%	0%	91%	0%	27%	36%	27%	9%
基礎	国語表現①	講義	4	筆記	100%	0%	100%	0%	0%	75%	25%	0%
基礎	文化人類学①	講義	11	筆記	100%	0%	100%	9%	64%	27%	0%	0%
基礎	心理学①	講義	11	筆記・課題	100%	0%	100%	27%	36%	18%	18%	0%
基礎	日本国憲法①	講義	10	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	80%	20%	0%	0%
基礎	体育講義①	講義	9	実技	78%	0%	78%	22%	22%	33%	0%	22%
基礎	体育実技①	実技	9	実技	78%	0%	78%	22%	22%	33%	0%	22%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修含) ①	講義	11	課題	100%	0%	100%	0%	30%	70%	0%	0%
専門	基礎デザインⅠ①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	18%	82%	0%	0%
専門	基礎デザインⅡ①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	9%	91%	0%	0%
専門	絵画①	演習	11	課題	91%	0%	91%	0%	0%	64%	27%	9%
専門	工芸①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	9%	73%	18%	0%
専門	彫塑①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	18%	73%	9%	0%
専門	デッサン①	演習	11	課題	100%	0%	100%	9%	9%	64%	18%	0%
専門	色彩①	講義	11	筆記	100%	0%	100%	0%	36%	9%	55%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅠ①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅡ①	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	82%	18%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅢ①	演習	11	課題	82%	0%	82%	0%	55%	27%	0%	18%
専門	コンピュータグラフィックスⅣ①	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	30%	50%	20%	0%
専門	コンピュータ理論①	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
専門	インテリアⅠ	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	27%	73%	0%	0%
専門	インテリアⅡ	演習	11	課題	100%	0%	100%	0%	55%	45%	0%	0%
専門	インテリアⅢ	演習	11	課題	91%	0%	91%	0%	36%	45%	9%	9%
専門	インテリアⅣ	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	20%	80%	0%	0%

種別	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	ユニバーサルデザインⅠ①	講義	11	筆記・課題	64%	18%	82%	9%	18%	27%	27%	18%
専門	ユニバーサルデザインⅡ①	講義	10	筆記・課題	90%	10%	100%	10%	10%	60%	20%	0%
専門	クラフトデザインⅠ①	演習	11	課題	82%	0%	82%	0%	82%	0%	0%	18%
専門	クラフトデザインⅡ①	演習	10	課題	100%	0%	100%	10%	0%	70%	20%	0%
専門	フィールドワークⅠ①	演習	7	課題	57%	14%	71%	0%	43%	14%	14%	29%
専門	フィールドワークⅡ①	演習	3	課題	33%	33%	67%	0%	33%	0%	33%	33%
専門	表現①	講義	11	課題	100%	0%	100%	0%	27%	55%	18%	0%
専門	造形①	講義	8	課題	88%	0%	88%	0%	50%	25%	13%	13%
専門	コミュニケーション概論①	講義	11	筆記・課題	73%	9%	82%	0%	18%	55%	9%	18%
専門	メディア文化論①	講義	11	筆記・課題	82%	9%	91%	18%	9%	27%	36%	9%
専門	空間演出論①	講義	11	課題	100%	0%	100%	0%	9%	91%	0%	0%
専門	創作過程論①	講義	9	課題	44%	0%	44%	0%	22%	11%	11%	56%
専門	イベント計画①	講義	2	課題	50%	0%	50%	0%	50%	0%	0%	50%
専門	図形表現①	講義	11	課題	100%	0%	100%	45%	36%	18%	0%	0%
専門	設計計画①	講義	11	筆記	100%	0%	100%	18%	45%	36%	0%	0%
専門	卒業制作①	演習	11	課題	91%	0%	91%	0%	55%	36%	0%	9%

アート・デザイン学科 グラフィックデザインコース

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	美術理論及び美術史②	講義	23	筆記	78%	9%	87%	0%	4%	30%	52%	13%
基礎	コミック文化論②	講義	23	筆記	96%	4%	100%	4%	22%	57%	17%	0%
基礎	インターネット②	講義	10	筆記・課題	100%	0%	100%	20%	80%	0%	0%	0%
基礎	英会話②	講義	20	筆記・課題	85%	5%	90%	0%	20%	60%	10%	10%
基礎	国語表現②	講義	12	筆記	83%	8%	92%	0%	25%	33%	33%	8%
基礎	文化人類学②	講義	20	筆記	100%	0%	100%	0%	30%	60%	10%	0%
基礎	心理学②	講義	21	筆記・課題	95%	0%	95%	29%	48%	19%	0%	5%
基礎	日本国憲法②	講義	18	筆記・課題	94%	6%	100%	0%	78%	17%	6%	0%
基礎	体育講義②	講義	16	実技	94%	0%	94%	25%	50%	13%	6%	6%
基礎	体育実技②	実技	16	実技	94%	0%	94%	25%	50%	13%	6%	6%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修含)②	講義	23	課題	100%	0%	100%	0%	83%	13%	4%	0%
専門	基礎デザインⅠ②	演習	23	課題	100%	0%	100%	0%	39%	61%	0%	0%
専門	基礎デザインⅡ②	演習	23	課題	96%	0%	96%	4%	26%	65%	0%	4%
専門	絵画②	演習	25	課題	100%	0%	100%	0%	35%	57%	9%	0%
専門	工芸②	演習	23	課題	100%	0%	100%	0%	26%	61%	13%	0%
専門	彫塑②	演習	23	課題	100%	0%	100%	0%	57%	43%	0%	0%

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	デッサン②	演習	23	課題	100%	0%	100%	13%	26%	61%	0%	0%
専門	色彩②	講義	23	筆記	100%	0%	100%	0%	26%	35%	39%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅠ②	演習	23	課題	100%	0%	100%	4%	83%	13%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅡ②	演習	23	課題	100%	0%	100%	17%	43%	35%	4%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅢ②	演習	22	課題	95%	0%	95%	5%	50%	36%	5%	5%
専門	コンピュータグラフィックスⅣ②	演習	17	課題	88%	6%	94%	18%	41%	29%	6%	6%
専門	コンピュータ理論②	講義	15	課題	93%	0%	93%	47%	27%	20%	0%	7%
専門	グラフィックⅠ	演習	23	課題	100%	0%	100%	0%	30%	70%	0%	0%
専門	グラフィックⅡ	演習	23	課題	100%	0%	100%	4%	39%	52%	4%	0%
専門	グラフィックⅢ	演習	23	課題	100%	0%	100%	4%	52%	43%	0%	0%
専門	グラフィックⅣ	演習	23	課題	100%	0%	100%	4%	74%	22%	0%	0%
専門	ユニバーサルデザインⅠ②	講義	22	筆記・課題	91%	5%	95%	9%	27%	50%	9%	5%
専門	ユニバーサルデザインⅡ②	講義	21	筆記・課題	86%	10%	95%	0%	19%	62%	14%	5%
専門	クラフトデザインⅠ②	演習	23	課題	91%	4%	96%	61%	22%	9%	4%	4%
専門	クラフトデザインⅡ②	演習	17	課題	88%	6%	94%	12%	29%	41%	12%	6%
専門	フィールドワークⅠ②	演習	19	課題	95%	5%	100%	0%	58%	37%	5%	0%
専門	フィールドワークⅡ②	演習	13	課題	85%	8%	92%	0%	54%	31%	8%	8%
専門	表現②	講義	23	課題	100%	0%	100%	0%	13%	65%	22%	0%
専門	造形②	講義	20	課題	100%	0%	100%	0%	65%	25%	10%	0%
専門	コミュニケーション概論②	講義	21	筆記・課題	95%	5%	100%	0%	33%	52%	14%	0%
専門	メディア文化論②	講義	21	筆記・課題	90%	5%	95%	38%	19%	19%	19%	5%
専門	空間演出論②	講義	23	課題	100%	0%	100%	0%	13%	83%	4%	0%
専門	創作過程論②	講義	18	課題	100%	0%	100%	17%	56%	28%	0%	0%
専門	イベント計画②	講義	8	課題	100%	0%	100%	0%	38%	63%	0%	0%
専門	図形表現②	講義	22	課題	100%	0%	100%	41%	45%	14%	0%	0%
専門	設計計画②	講義	20	課題	100%	0%	100%	5%	25%	70%	0%	0%
専門	卒業制作Ⅰ②	演習	17	課題	100%	0%	100%	18%	59%	12%	12%	0%
専門	卒業制作Ⅱ②	演習	14	課題	100%	0%	100%	0%	17%	67%	17%	0%
教職	教師論②	講義	1	筆記	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	教育学②	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育心理学②	講義	1	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	美術科教育法②	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
教職	生徒指導論②	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%

アート・デザイン学科 ファッションデザインコース

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	美術理論及び美術史③	講義	5	筆記	80%	0%	80%	0%	20%	20%	40%	20%
基礎	コミック文化論③	講義	7	筆記	100%	0%	100%	0%	14%	43%	43%	0%
基礎	インターネット③	講義	8	筆記・課題	63%	0%	63%	0%	13%	50%	0%	38%
基礎	英会話③	講義	5	筆記・課題	80%	0%	80%	0%	0%	60%	20%	20%
基礎	国語表現③	講義	10	筆記	100%	0%	100%	0%	10%	40%	50%	0%
基礎	文化人類学③	講義	10	筆記	80%	0%	80%	0%	10%	60%	10%	20%
基礎	心理学③	講義	10	筆記・課題	100%	0%	100%	10%	60%	10%	20%	0%
基礎	日本国憲法③	講義	8	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	38%	63%	0%	0%
基礎	体育講義③	講義	5	実技	100%	0%	100%	20%	60%	20%	0%	0%
基礎	体育実技③	実技	5	実技	100%	0%	100%	20%	60%	20%	0%	0%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修含)②	講義	10	課題	100%	0%	100%	0%	40%	30%	30%	0%
専門	基礎デザインⅠ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	40%	60%	0%	0%
専門	基礎デザインⅡ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	50%	50%	0%	0%
専門	絵画③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	工芸③	演習	10	課題	90%	10%	100%	0%	30%	40%	30%	0%
専門	彫塑③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	0%	90%	10%	0%
専門	デッサン③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
専門	色彩③	講義	10	筆記	100%	0%	100%	0%	40%	30%	30%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅠ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	60%	40%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅡ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	10%	50%	40%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅢ③	演習	8	課題	100%	0%	100%	13%	88%	0%	0%	0%
専門	コンピュータグラフィックスⅣ③	演習	8	課題	88%	0%	88%	25%	38%	25%	0%	13%
専門	コンピュータ理論③	講義		課題	-	-	-	-	-	-	-	-
専門	ファッションⅠ	演習	10	課題	90%	10%	100%	0%	20%	20%	60%	0%
専門	ファッションⅡ	演習	10	課題	100%	0%	100%	10%	40%	30%	20%	0%
専門	ファッションⅢ	演習	10	課題	100%	0%	100%	10%	90%	0%	0%	0%
専門	ファッションⅣ	演習	10	課題	100%	0%	100%	50%	30%	20%	0%	0%
専門	ユニバーサルデザインⅠ③	講義	9	筆記・課題	67%	22%	89%	0%	22%	44%	22%	11%
専門	ユニバーサルデザインⅡ③	講義	5	筆記・課題	20%	40%	60%	0%	0%	0%	60%	40%
専門	クラフトデザインⅠ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	40%	50%	10%	0%
専門	クラフトデザインⅡ③	演習	10	課題	70%	30%	100%	20%	50%	0%	30%	0%
専門	フィールドワークⅠ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	40%	60%	0%	0%
専門	フィールドワークⅡ③	演習	10	課題	100%	0%	100%	0%	10%	80%	10%	0%
専門	表現③	講義	10	課題	100%	0%	100%	0%	10%	70%	20%	0%
専門	造形③	講義	9	課題	100%	0%	100%	0%	11%	89%	0%	0%
専門	コミュニケーション概論③	講義	7	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	0%	86%	14%	0%
専門	メディア文化論③	講義	8	課題・課題	75%	13%	88%	0%	63%	13%	13%	13%

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	空間演出論③	講義	10	課題	100%	0%	100%	0%	0%	90%	10%	0%
専門	創作過程論③	講義	6	課題	67%	0%	67%	0%	17%	50%	0%	33%
専門	イベント計画③	講義	4	課題	75%	25%	100%	0%	0%	75%	25%	0%
専門	図形表現③	講義	8	課題	100%	0%	100%	50%	38%	13%	0%	0%
専門	設計計画③	講義	10	課題	100%	0%	100%	0%	10%	50%	40%	0%
専門	卒業制作③	演習	10	課題	100%	0%	100%	10%	40%	40%	10%	0%
教職	教師論③	講義	1	筆記	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育学③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育心理学③	講義	1	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	美術科教育法③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
教職	道德教育研究③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	教育方法論③	講義	1	課題	0%	100%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
教職	生徒指導論③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育相談③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	総合演習(前)③	演習	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	総合演習(後)③	演習	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
教職	事前・事後指導③	講義	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	教育実習③	実習	1	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	介護等体験実習(事前・事後指導含)③	実習	1	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%

アート・デザイン学科 マンガ・イラスト・絵画コース

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	美術理論及び美術史④	講義	30	筆記	87%	3%	90%	0%	3%	40%	47%	10%
基礎	コミック文化論④	講義	39	筆記	92%	5%	97%	0%	31%	56%	10%	3%
基礎	インターネット④	講義	35	筆記・課題	94%	0%	94%	6%	51%	34%	3%	6%
基礎	英会話④	講義	14	筆記・課題	93%	0%	93%	0%	50%	36%	7%	7%
基礎	国語表現④	講義	33	筆記	79%	6%	85%	0%	0%	0%	6%	94%
基礎	文化人類学④	講義	39	筆記	97%	0%	97%	3%	10%	69%	15%	3%
基礎	心理学④	講義	38	筆記・課題	97%	0%	97%	37%	39%	8%	13%	3%
基礎	日本国憲法④	講義	28	筆記・課題	89%	4%	93%	0%	71%	18%	4%	7%
基礎	体育講義④	講義	20	実技	100%	0%	100%	10%	55%	25%	10%	0%
基礎	体育実技④	実技	20	実技	100%	0%	100%	10%	55%	25%	10%	0%
基礎	生活と社会(校外活動・海外研修含)④	講義	37	課題	100%	0%	100%	0%	69%	28%	3%	0%
専門	基礎デザインⅠ④	演習	39	課題	97%	0%	97%	0%	28%	62%	8%	3%
専門	基礎デザインⅡ④	演習	38	課題	95%	3%	97%	0%	28%	56%	13%	3%
専門	絵画④	演習	36	課題	97%	0%	97%	0%	35%	59%	3%	3%
専門	工芸④	演習	38	課題	97%	0%	97%	0%	28%	62%	8%	3%

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
専門	彫塑④	演習	39	課題	97%	0%	97%	5%	33%	54%	5%	3%
専門	デッサン④	演習	39	課題	95%	3%	97%	0%	18%	54%	26%	3%
専門	色彩④	講義	39	筆記	97%	0%	97%	0%	31%	41%	26%	3%
専門	コンピュータグラフィックスⅠ④	演習	39	課題	97%	0%	97%	5%	79%	13%	0%	3%
専門	コンピュータグラフィックスⅡ④	演習	38	課題	97%	0%	97%	15%	72%	10%	0%	3%
専門	コンピュータグラフィックスⅢ④	演習	34	課題	88%	3%	91%	9%	44%	32%	6%	9%
専門	コンピュータグラフィックスⅣ④	演習	30	課題	100%	0%	100%	10%	50%	33%	7%	0%
専門	コンピュータ理論④	講義	33	課題	94%	0%	94%	6%	55%	12%	21%	6%
専門	ビジュアルⅠ	演習	39	課題	97%	0%	97%	5%	49%	38%	5%	3%
専門	ビジュアルⅡa	演習	28	課題	96%	4%	100%	7%	57%	32%	4%	0%
専門	ビジュアルⅡb	演習	10	課題	90%	10%	100%	10%	50%	30%	10%	0%
専門	ビジュアルⅢa	演習	27	課題	100%	0%	100%	7%	37%	37%	19%	0%
専門	ビジュアルⅢb	演習	10	課題	90%	0%	90%	0%	0%	90%	0%	10%
専門	ビジュアルⅣa	演習	25	課題	96%	4%	100%	0%	32%	44%	24%	0%
専門	ビジュアルⅣb	演習	11	課題	82%	18%	100%	0%	36%	36%	27%	0%
専門	ユニバーサルデザインⅠ④	講義	25	筆記・課題	80%	8%	88%	16%	12%	44%	16%	12%
専門	ユニバーサルデザインⅡ④	講義	22	筆記・課題	77%	9%	86%	0%	14%	59%	14%	14%
専門	クラフトデザインⅠ④	演習	37	課題	84%	8%	92%	3%	11%	24%	54%	8%
専門	クラフトデザインⅡ④	演習	33	課題	85%	3%	88%	12%	27%	27%	21%	12%
専門	フィールドワークⅠ④	演習	37	課題	97%	0%	97%	0%	70%	24%	3%	3%
専門	フィールドワークⅡ④	演習	34	課題	100%	0%	100%	0%	76%	12%	12%	0%
専門	表現④	講義	30	課題	97%	0%	97%	3%	10%	63%	20%	3%
専門	造形④	講義	35	課題	91%	3%	94%	0%	71%	21%	3%	6%
専門	コミュニケーション概論④	講義	26	筆記・課題	92%	0%	92%	4%	23%	58%	8%	8%
専門	メディア文化論④	講義	29	課題・課題	90%	3%	93%	21%	48%	10%	14%	7%
専門	空間演出論④	講義	39	課題	97%	0%	97%	0%	15%	82%	0%	3%
専門	創作過程論④	講義	24	課題	79%	0%	79%	8%	38%	25%	8%	21%
専門	イベント計画④	講義	14	課題	86%	0%	86%	0%	64%	21%	0%	14%
専門	図形表現④	講義	39	課題	97%	0%	97%	78%	19%	0%	0%	3%
専門	設計計画④	講義	38	課題	97%	0%	97%	11%	21%	61%	5%	3%
専門	卒業制作Ⅰ④	演習	14	課題	100%	0%	100%	7%	36%	57%	0%	0%
専門	卒業制作Ⅱ④	演習	14	課題	100%	0%	100%	0%	36%	57%	7%	0%
専門	卒業制作Ⅲ④	演習	9	課題	100%	0%	100%	22%	0%	33%	33%	11%
教職	教師論④	講義	3	筆記	67%	0%	67%	33%	33%	0%	0%	33%
教職	教育学④	講義	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育心理学④	講義	3	筆記・課題	100%	0%	100%	67%	33%	0%	0%	0%
教職	美術科教育法④	講義	3	課題	67%	0%	67%	0%	0%	67%	0%	33%
教職	道德教育研究④	講義	3	課題	67%	0%	67%	0%	0%	67%	0%	33%

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
教職	教育方法論④	講義	2	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	生徒指導論④	講義	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%
教職	教育相談④	講義	2	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	総合演習(前)④	演習	2	課題	100%	0%	100%	0%	50%	50%	0%	0%
教職	総合演習(後)④	演習	2	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	事前・事後指導④	講義	2	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	教育実習④	実習	2	課題	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
教職	介護等体験実習(事前・事後指導含)④	実習	3	課題	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%

看護学科

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	人間発達学	演習	91	筆記・課題	97%	0%	97%	75%	21%	1%	0%	3%
基礎	人間関係論	演習	91	筆記・課題	97%	0%	97%	24%	65%	8%	0%	3%
基礎	家族論	演習	81	筆記・課題	100%	0%	100%	38%	53%	9%	0%	0%
基礎	教育学	演習	81	筆記	88%	13%	100%	20%	23%	44%	13%	0%
基礎	情報科学(前)	講義 演習	92	課題	97%	0%	97%	11%	85%	1%	0%	3%
基礎	情報科学(後)	講義 演習	90	課題	100%	0%	100%	6%	94%	0%	0%	0%
基礎	環境と人間	演習	91	筆記・課題	97%	0%	97%	32%	59%	5%	0%	3%
基礎	行動科学	演習	91	課題	97%	0%	97%	65%	32%	0%	0%	3%
基礎	衛生統計学	演習	81	筆記・課題	100%	0%	100%	14%	47%	40%	0%	0%
基礎	看護英語	演習	84	筆記	61%	39%	100%	0%	34%	27%	39%	0%
基礎	英語	講義	91	筆記	49%	46%	96%	3%	11%	35%	46%	4%
基礎	人間工学	講義	81	筆記	100%	0%	100%	60%	35%	5%	0%	0%
基礎	カウンセリング理論	講義	81	筆記・課題	95%	3%	99%	3%	72%	20%	3%	1%
基礎	性保健学	講義	84	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	32%	68%	0%	0%
基礎	生命科学	講義	90	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	18%	82%	0%	0%
基礎	臨床心理学	演習	91	筆記・課題	96%	1%	97%	2%	84%	10%	1%	3%
基礎	国際看護論	講義	84	課題	100%	0%	100%	31%	68%	1%	0%	0%
基礎	生化学(栄養学含む)	演習	96	筆記	84%	13%	97%	1%	24%	58%	13%	3%
基礎	人体の構造・機能Ⅰ	演習	93	筆記	97%	0%	97%	25%	51%	21%	0%	3%
基礎	人体の構造・機能Ⅱ	演習	93	筆記	97%	0%	97%	25%	51%	21%	0%	3%
基礎	人体の構造・機能Ⅲ	演習	93	筆記	100%	0%	100%	9%	50%	41%	0%	0%
基礎	疾病の成り立ちⅠ	演習	93	筆記	100%	0%	100%	16%	36%	48%	0%	0%
基礎	疾病の成り立ちⅡ	演習	92	筆記	99%	1%	100%	5%	49%	45%	1%	0%
基礎	疾病の回復促進Ⅰ<循環器・呼吸器>	講義 演習	91	筆記	84%	16%	100%	0%	26%	58%	16%	0%
基礎	疾病の回復促進Ⅰ<消化器・女性生殖器>	講義 演習	91	筆記	88%	13%	100%	13%	49%	26%	13%	0%
基礎	疾病の回復促進Ⅱ<脳神経系・腎泌尿器系>	講義 演習	84	筆記	98%	2%	100%	7%	65%	26%	2%	0%
基礎	疾病の回復促進Ⅱ<血液・リンパ・内分泌系・小児疾患>	講義 演習	84	筆記	88%	13%	100%	9%	26%	52%	13%	0%
基礎	疾病の回復促進Ⅲ	講義	84	筆記	99%	1%	100%	13%	61%	25%	1%	0%
基礎	医療関係法規	講義	81	筆記・課題	97%	3%	100%	5%	48%	44%	3%	0%

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位修得状況 %			最終の評価 %				
					本試	追再試	計	秀	優	良	可	不可
基礎	社会保障	講義	84	筆記・課題	89%	11%	100%	2%	44%	42%	11%	0%
基礎	医療概論	講義	90	課題	100%	0%	100%	11%	51%	38%	0%	0%
基礎	特別講義 I	講義	81	実技	100%	0%	100%	88%	13%	0%	0%	0%
基礎	特別講義 II	演習	91	筆記	98%	0%	98%	47%	42%	9%	0%	2%
専門	看護学概論 I	演習	91	筆記・課題	97%	0%	97%	9%	56%	32%	0%	3%
専門	看護学概論 II	演習	80	筆記	89%	11%	100%	7%	43%	39%	11%	0%
専門	看護過程論	演習	84	筆記	91%	9%	100%	0%	9%	82%	9%	0%
専門	基礎看護技術 I	演習	91	筆記・実技	80%	16%	97%	0%	10%	70%	16%	3%
専門	基礎看護技術 II	演習	89	筆記・実技	90%	10%	100%	0%	22%	68%	10%	0%
専門	基礎看護学実習 I	実習	89	筆記・実技・課題	100%	0%	100%	1%	41%	58%	0%	0%
専門	基礎看護学実習 II	実習	81	課題	95%	5%	100%	0%	18%	77%	5%	0%
専門	在宅看護論	演習	84	筆記・課題	85%	15%	100%	0%	15%	70%	15%	0%
専門	在宅看護方法	演習	81	筆記	92%	8%	100%	7%	42%	43%	8%	0%
専門	在宅看護実習	実習	89	課題	99%	0%	99%	1%	39%	58%	0%	1%
専門	成人看護学概論	講義	92	筆記・課題	95%	2%	97%	1%	46%	47%	2%	3%
専門	成人看護方法 I	演習	89	筆記	99%	1%	100%	0%	34%	65%	1%	0%
専門	成人看護方法 II	演習	84	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	55%	45%	0%	0%
専門	成人看護方法 III	演習	84	筆記・課題	88%	13%	100%	2%	24%	61%	13%	0%
専門	成人看護方法 IV	演習	81	筆記・課題	80%	20%	100%	1%	18%	60%	20%	0%
専門	成人看護学実習 I	実習	90	課題	96%	0%	96%	0%	13%	82%	0%	4%
専門	成人看護学実習 II	実習	89	課題	94%	1%	95%	0%	15%	80%	1%	5%
専門	老年看護学概論	講義	89	筆記・課題	100%	0%	100%	2%	49%	49%	0%	0%
専門	老年看護方法 I	演習	84	筆記・課題	98%	2%	100%	1%	53%	43%	2%	0%
専門	老年看護方法 II	演習	81	筆記・課題	99%	1%	100%	0%	50%	49%	1%	0%
専門	老年看護学実習	実習	89	課題	100%	0%	100%	4%	34%	62%	0%	0%
専門	小児看護学概論	講義	84	筆記・課題	99%	1%	100%	2%	42%	55%	1%	0%
専門	小児看護方法 I a	演習	84	筆記・課題	100%	0%	100%	11%	69%	19%	0%	0%
専門	小児看護方法 I b	演習	84	筆記・課題	98%	2%	100%	3%	52%	42%	2%	0%
専門	小児看護方法 II	演習	81	筆記・課題	93%	7%	100%	2%	45%	45%	7%	0%
専門	小児看護学実習	実習	89	課題	92%	4%	97%	0%	21%	73%	2%	3%
専門	母性看護学概論	講義	92	筆記・課題	99%	1%	100%	0%	64%	35%	1%	0%
専門	母性看護方法 I	演習	84	筆記・課題	100%	0%	100%	1%	24%	75%	0%	0%
専門	母性看護方法 II	演習	81	課題	100%	0%	100%	2%	35%	63%	0%	0%
専門	母性看護学実習	実習	89	課題	99%	0%	99%	2%	19%	78%	0%	1%
専門	精神看護学概論	講義	92	筆記	95%	5%	100%	0%	26%	69%	5%	0%
専門	精神看護方法 I (前)	演習	81	筆記・課題	97%	3%	100%	0%	57%	40%	3%	0%
専門	精神看護方法 I (後)	演習	81	筆記・課題	100%	0%	100%	5%	74%	22%	0%	0%
専門	精神看護方法 II	演習	81	課題	98%	2%	100%	20%	33%	44%	2%	0%
専門	精神看護学実習	実習	89	課題	100%	0%	100%	0%	31%	69%	0%	0%
専門	課題別看護論 I	講義	21	課題	100%	0%	100%	4%	93%	4%	0%	0%
専門	課題別看護論 II	講義	12	課題	100%	0%	100%	17%	75%	8%	0%	0%
専門	課題別看護論 III	講義	16	課題	100%	0%	100%	0%	56%	44%	0%	0%
専門	課題別看護論 IV	講義	20	課題	100%	0%	100%	0%	75%	25%	0%	0%
専門	課題別看護論 V	講義	12	課題	100%	0%	100%	0%	75%	25%	0%	0%

専攻科 助産学専攻

科目区分	教科目	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 %			最終の評価 %				
					本試	再試等	計	秀	優	良	可	不可
礎基	助産学概論	講義	29	筆記・課題	100%	0%	100%	7%	66%	24%	3%	0%
礎基	性・生殖の形態・機能・病態 I	講義	29	筆記	100%	0%	100%	0%	17%	17%	66%	0%
礎基	性・生殖の形態・機能・病態 II	講義	29	筆記	100%	0%	100%	0%	17%	17%	66%	0%
礎基	性・生殖の形態・機能・病態 III	講義	29	筆記	100%	0%	100%	10%	79%	10%	0%	0%
礎基	性・生殖の形態・機能・病態 IV	講義	29	課題	100%	0%	100%	3%	90%	7%	0%	0%
礎基	母子の健康科学 I	講義	29	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	86%	14%	0%	0%
礎基	母子の健康科学 II	講義	29	筆記	100%	0%	100%	0%	52%	45%	3%	0%
礎基	母性・父性の心理社会学	講義	29	課題	100%	0%	100%	0%	93%	7%	0%	0%
践実	助産診断・技術学 I	実技	29	筆記・課題	100%	0%	100%	17%	62%	14%	7%	0%
践実	助産診断・技術学 II	実技	29	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	14%	66%	21%	0%
践実	助産診断・技術学 III	実技	29	筆記	100%	0%	100%	0%	38%	62%	0%	0%
践実	助産診断・技術学 IV	実技	29	筆記・課題	100%	0%	100%	0%	97%	3%	0%	0%
践実	地域母子保健	実技	29	筆記・課題	100%	0%	100%	17%	48%	34%	0%	0%
践実	助産管理	実技	29	筆記・課題	100%	0%	100%	3%	52%	24%	21%	0%
践実	助産診断学・助産技術学実習	実技	29	課題	100%	0%	100%	21%	72%	7%	0%	0%
践実	助産業務管理実習	実技	29	課題	100%	0%	100%	0%	69%	31%	0%	0%
践実	地域母子保健実習	実技	29	課題	100%	0%	100%	0%	97%	3%	0%	0%
合総	助産学研究	実技	29	課題	100%	0%	100%	0%	66%	34%	0%	0%
合総	助産学英語表現法	実技	29	筆記	100%	0%	100%	0%	41%	48%	10%	0%
合総	情報管理	実技	29	課題	97%	3%	100%	31%	62%	3%	3%	0%
合総	助産学特論	実技	29	課題	100%	0%	100%	0%	83%	17%	0%	0%

(2) 学科長による、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状分析

①生活科学科

健康栄養コースは、全科目を平均すると、本試験での単位取得が93%であり、追再試験での単位取得が4%であった。また、全教科における秀・優・良・可の成績評価の割合は、それぞれ13%・40%・34%・10%であった。健康栄養コースは、栄養士養成課程でもあるので、成績評価の厳格化は栄養士養成施設を所管する厚生労働省からも求められているところであるが、本試験の取得率が85%前後から90%台であり、80%以上の成績を取得した者が半数強であることから、数字上は適正であると考え。昨年度は80%以上の評点である秀・優を取得している学生が約6割であったこと、成績評価の適正化について学科専任教員で話し合われていること等を考えると、単位認定が厳格になったとも考えられるが、また教員の授業方法等がわかりにくかったとも考えられる。今年度についても、授業方法・試験問題等の教員間での相互評価等を検討していきたい。

ビジネス・コミュニケーションコースについては、全科目を平均すると、本試験での単位取得が90%であり、追再試験での単位取得が5%であった。また、全教科における秀・優・良・可の成績評価の割合は、それぞれ4%・46%・32%・13%であった。人数が少ないため、データから分析することは難しいが、数字上は適正であると考えられ、また学科共通科目は健康栄養コースに準じているので、適正な評価がなされていると考え。

②アート・デザイン学科

全コースの全科目を平均すると、単位取得率は96%である。本試験での単位取得が94%であり、追再試験での単位取得が2%であった。また、全教科における秀・優・良・可の成績評価の割合は、それぞれ7%・37%・40%・11%であった。昨年度と比較すると単位取得率が下がっており、また成績評価の割合についても評点80%以上の評価である秀・優を取得した割合が、6ポイント低下した。昨年度の単位取得率が少し高すぎたといえるが、秀・優を取得した割合が少なくなったことを考え合わせると、入学者が大幅に増加した影響も考えられる。特に実技を重視する学科であるので、ひとりひとりの学生に対して適切な教育・指導がなされているか否かについて、教員相互で検証をする必要があると考える。ただ、80%以上が44%、60点以上80点未満の良の評価が40%という割合については、全体としては偏りの少ない評価であると考え。今年度も「課題」を主な単位認定の方法にしている教科目が多いが、教科目の内容から考えて、問題ないと考え。

③看護学科

全科目を平均すると、単位取得率は99%であり、本試験での単位取得が94%であり、追再試験での単位取得が5%であった。また、全教科における秀・優・良・可の成績評価の割合は、それぞれ11%・42%・42%・5%であった。単位取得率が高いが、必修教科がほとんどであるカリキュラムから考えて、適切であると考え。ほぼすべての教科について90%台後半から100%の単位取得であるので、昨年度と比較して学科間の偏りは少なかったと考えられる。短期大学の看護学科は平成20年度から学生募集を停止し、学科廃止を控えているので、安易な単位認定にならないよう、教務委員会等で単位認定の適正さについて監視を行っていく必要があると考える。成績評価については、得点率80%以上の秀・優の評価が約53%であり、60%以上の良評価が42%であった。昨年とほぼ同様であり、全体としてはバランスの良い成績評価であったと考え。

④専攻科助産学専攻

全員が修了でき、ほとんどが必修科目なので、結果として単位取得率は100%となっている。全教科における秀・優・良・可の成績評価の割合は、それぞれ5%・62%・23%・10%であった。得点率80%以上の評価が67%、70%以上の良評価が23%と、昨年と比較しても少し得点率が高い傾向にある。また、例年同様、教科によって評価のばらつきが多い。医学系の教科については、学生の不得意が関係して点数が低い傾向が改善されていないが、他については格差が是正されていると考えられる。不得意教科の教授法・成績向上の対策について検討する必要があると考える。

(3) 学長による、短期大学全体の単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についての分析。

各学科の特性にしたがった単位認定の方法であり、適切に実施されていると考える。成績評価については、おおむね正当な評価がなされていると考える。また、評価が平均から著しく逸脱している教科目は、昨年より少なくなっていると感じる。関係委員会での検討、授業評価の個々の教員による活用、FDの成果等が考えられるが、いずれにしても不適切な成績評価は、学生に不利益を及ぼすことになるので、関係の委員会だけでなく、非常勤を含む個々の教員で検討する必要があると考える。

【授業に対する学生の満足度について】

(1) 各授業について、終了後の「学生の満足度」についての調査概要

前述した「授業評価アンケート」において、各教科の「授業の全般的印象」について尋ね、最後の項目で「10.授業の満足度を5段階で評価してください」という質問を置いている。平成20年度に改訂した新しい「授業評価アンケート」で新設した質問項目である。「学生による授業評価の概要」において説明したとおり、調査の有効性を高めるため、質問項目を限定した関係上、全般的な満足度のみ評価させることとしている。

(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについての、学科長の現状把握

①生活科学科

平成20年度の「授業評価アンケート」での学生の満足度について、全教科の平均は5段階評価で前期は3.92であり、後期は4.04であった。学生が不得意と思われる分野の科目について満足度が低いようであるが、それでも3点台であり、全般に満足度は高いものとする。

②アート・デザイン学科

平成20年度の「授業評価アンケート」での学生の満足度について、全教科の平均は5段階評価で前期は3.89であり、後期は4.10であった。実技科目が多いため、例年比較的、平均の満足度が高い学科であるが、前期は以外に低かった。一部講義科目だけでなく、実技科目でも3点台前半の教科があったためである。個々の教員でわかりやすい、効果的な授業ができるよう結果を分析・検討する必要があると考える。ただし、4点台の平均というのは、すこし高すぎるようにも思われるので、学生に実力がついた上で満足度が高いものか否かについて全体としてだけでなく、個々の教員が検討する必要があると考える。

③看護学科

平成20年度の「授業評価アンケート」での学生の満足度について、全教科の平均は5段階評価で前期は3.31であり、後期は3.23であった。中間の3は超えているが、他学科と比較して、低い満足度となっている。全体として満足度が低いので、国家試験を控え、実力をつけさせなければならないため、教員の授業内容について、自由度が低いことも大きな要因であると考えられるが、2点台の教科については、短期大学としての授業は終了となるが、引き続き大学の看護学科を担当する教員については、授業方法の改善等の検討を求めている。なお、平成20年度は、1年生は在籍がなく、3年生は実習であるため、2年生の授業評価のみである。

④専攻科助産学専攻

平成20年度の「授業評価アンケート」での学生の満足度について、前後期の全教科の平均は5段階評価で3.82であった。看護学科と同様、国家試験受験のため、自由度の低い学科であるが、かなり満足度が高かったと考える。おおむね教授方法について、学生に支持されているものとする。ただし、学科によってばらつきがあるため、評価が低かった個々の教科担当については、分析・検討して、次年度以降の授業に役立てるよう促したい。

(3) 学長による短期大学全体の現状分析。

学生の学力や関心は多様化している中で、おおむね高評価であったと考えている。目的意識がしっかりした学生が多いからであると考えている。ただし、看護学科で比較的満足度が低かったことについては、今後の大学での教育に向けて、是非検討していく必要があると考える。

今後も、引き続き、満足度が高まるよう、学生の学習意欲の喚起し、学生のニーズをつかんだ授業が行えるよう、また学生の努力を適正に評価するよう、教職員全体で心がけていきたい。

【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の退学、休学、留年等の数

生活科学科退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学	備考
入学者数	78	92	31	
うち退学者数	5	4	1	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうちの復学者数	-	-	-	
うち留年者数	0	0	0	
卒業生数	73	88		

アート・デザイン学科退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学	備考
入学者数	68	83	72	
うち退学者数	5	4	3	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうちの復学者数	-	-	-	
うち留年者数	0	0	0	
卒業生数	63	79		

看護学科退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学	備考
入学者数	91	88		
うち退学者数	3	4		
うち休学者数	4	0		
休学者のうちの復学者数	4	-		
うち留年者数	11	0		
卒業生数	77			

専攻科助産学専攻退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学	備考
入学者数	17	17	29	
うち退学者数	0	0	0	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうちの復学者数	-	-	-	
うち留年者数	0	0	1	
卒業生数	17	17	29	

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者(復学者を含む)及び留年者に対する指導(ケア)の現状(各学科)

①生活科学科

退学理由としては約半数が「進路変更」であり、また3割が「一身上の都合」であるが、実質的にはほとんどのケースが「進路変更」を理由としているようである。平成19年度からそうした傾向が増えている。

②アート・デザイン学科

退学理由として過去3年間にあげられているのは、半数が「進路変更」であり、次いで「一身上の都合」である。平成19年度は、授業料未納による除籍というケースが2件あった。

③看護学科

過去3年間において、退学理由としてあげられていた7割強が「進路変更」である。次いで「一身上の都合」「健康上の理由」である。平成19年度後期から平成20年度にかけて、休学者が4名も出ている。休学者・留年者については、担当学年の担任である教員ができる限りコミュニケーションを密にとるよう心がけている。

(3) 各学科長による退学、休学、留年等の現状分析

①生活科学科

過去3年間については、100名定員の平成18年度・19年度入学生については、それぞれ5・4名であり、40名定員となった平成20年度入学者はこれまで1名の退学者である。定員の5%いないであり、それほど多くの退学者は出していない。入学者が減少したこともあり、クラス担任等の個人面談や日常の各教員による学生とのコミュニケーションの重視した学生指導を実施しているが、今後も継続していきたい。

②アート・デザイン学科

入学者の増加に比例して退学者も増加している傾向は平成20年度にも継続している。平成20年度入学生についても、すでに3名の退学者を出してしまっている。在籍者比ではそれほどの変化がないとはいえ、学生との密接なコミュニケーションについては、担任を中心に個々の教員が心がけていきたい。また、「進路変更」を理由とした退学者が多いことから、オープンキャンパスや進学説明会で、受験生に対して、進路決定の際の詳細で正確な情報提供を心がけていきたい。

③看護学科

平成18・19年度入学生については、それぞれ3・4名の退学者であったので、それほど多くの退学者ではなかったと考える。平成17年度入学生の退学者が多かったため、担任を中心に学生指導を徹底した成果が多少とも現れたと感じている。引き続き、学力不足の学生への指導、実習時の学生へのフォローアップを実施していきたい。

④専攻科

目的意識のしっかりとした学生がほとんどであるため、退学は生じていない。

(4)学長による短期大学全体の現状分析。

平成20年度の退学等については、各学科とも5%以内の退学率であり、やむを得ない範囲内であったと考えている。今後は定員・入学者とも少なくなっていく状況にあるので、是非ともさらなる退学率の低下を目指していきたい。そのためには、看護学科平成17年度入学生への反省を踏まえ、初年次の生活・学業指導を充実させ、また学生の不安・懸念を払拭するよう担任を中心とした教員が学生コミュニケーションを密にするなどの対策を継続していきたい。また、募集段階でも受験生に対して、学科内容等について詳しい説明を行うように徹底していきたい。

【資格取得の取組みについて】

取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)(各学科)

①生活科学科

訪問介護員(2級)	3	3	100.0
ピアヘルパー	17	16	94.1
医事管理士	13	12	92.3
医療事務士	49	48	98.0
医療管理秘書士	49	48	98.0
栄養教諭2種	12	12	100.0
中学教諭2種・家庭科	1	1	100.0
環境マネージャー	46	46	100.0

②アート・デザイン学科

	希望者数	取得者数	取得率(%)
中学校教諭2種・美術免許状	3	3	100.0
商品装飾展示技能士2級	1	1	100.0
商品装飾展示技能士3級	25	17	68.0
カラーコーディネーター検定2級	5	1	20.0
商業施設士補	5	5	100.0
環境マネージャー認証取得者	27	27	100.0

③専攻科助産学専攻

	希望者数	取得者数	取得率
受胎調節実施指導員	29	29	100.0

【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

(1) 学科ごとの専門就職（当該学科等で学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）

① 生活科学科

平成19年度卒業生については、就職希望者70名のうち74%にあたる52名が専門就職先に就職している。内訳は、栄養士・食品技術者・医療事務職であり、短期大学で学習した内容を生かせる職種についている卒業生が多い。

② アート・デザイン学科

平成19年度卒業生については、53名の就職希望者のうち約23%にあたる12名が専門就職先に就職していると見られる。デザイナー等の専門就職者であるのか正確に見きわめるのが難しいのであるが、後述するように就職率が振るわない一方で、就職者は自分の専門を生かして就職できている率が高いようである。

③ 看護学科

平成19年度卒業生の就職者についても例年と同様に、100%が看護師として就職している。62名中62名という結果である。

④ 専攻科助産学専攻

平成19年度修了生についても、17名の修了者中17名が病院もしくは診療所(産科婦人科)に就職している。よって専門就職率は100%である。

(2) 卒業生に対する就職先及びその他の進路先からの評価

① 生活科学科

平成20年度から桐生大学に栄養学科が設置され、管理栄養士の養成を開始したが、短期大学部については栄養士養成施設として、長年の実績があり、また病院・給食事業所・保育園等に勤務する栄養士が多いため、引き続き本学生活科学科卒業生に対する求人は多く、即戦力として期待されているようである。しかし、就職先を見ると、若干、進路先に変化が現れ、病院への就職は減少しているようである。

② アート・デザイン学科

依然として、在学中のコンテスト等での入賞者が多いため、地域社会においては、デザイン分野の方には実力が認められていると考える。ただ、それが、需要との関係で就職率には結びついていないのが現状である。学生が自分の志すものと少しでも異なると、就職を望まないケースが多いことも影響していると考えられる。ただ、デザイン系の職種に就職できた学生に対する評価は依然として高い。

③ 看護学科

ここ数年と同様に、看護職としての就職がほとんどであり、就職先は地域医療支援病院や特定機能病院等の病床数の多い病院への就職者が多く、またそうした病院からの求人も多い。平成21年3月卒業生は、大学病院等で高度医療を志す卒業生が多く、実に17名が大学附属の病院に就職している(例：自治医科大学附属病院6名、群馬大学付属病院4名など)。前年に比較すると、特定の地域病院に就職する率は低くなったが、群馬県東毛地域の基幹病院に17名就職しており、本学の卒業生への期待がかなり高いことがうかがわれる。

④ 専攻科助産学専攻

地域の助産師養成としての期待が高く、かなり多くの卒業生が地域の産科婦人科に就職しているが、平成21年3月卒業生は、都心の産科として定評のある病院にも就職しており、定員が増加したせいも、前年度よりは多様化している。

(3) 卒業生に対する社会の評価

未曾有の就職難の時代にあって、かなりの就職先を確保できているのは資格取得者が多いという学科構成であるだけでなく、「社会に出て役立つ人間の育成」を建学の精神・教育理念として、教育を行っているため、本学の卒業生が地域社会で中心となって活躍しているからであると考えられる。栄養士養成において、若干進路先は変化してきているが、多数の本学卒業生が群馬県東毛地域を中心に就職し、そこで重要な役割を担っている。看護・専攻科についても、地域医療における期待は高く、多くの卒業生が地域医療に携わっているが、平成21年3月は、高度先端医療を担う病院にも多数就職し、医療の進化に貢献しようとしている。デザインについても、専門職として活躍する卒業生については評価が高い。

《Ⅴ 学生支援》の記述及び資料等について

【入学に関する支援について】

(1) 建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像を入学志願者に対し、明示している方法、手段。

建学の精神・教育理念、設置学科等の教育目的・教育目標等については、大学と共通の学校案内やパンフレットなどの印刷物や大学(短大と共通)のホームページに明示している。「求める学生像」については、「学生募集要項」に教育目的・教育目標とともに明示している。これらのことがらについては、オープンキャンパス、高校訪問、進学説明会、高校での出張模擬授業等を通じて、入学志願者だけでなく、高校教員、保護者等に行っている。

(2) 入学者選抜の方針、選抜方法(推薦、一般、AO入試等)を入学志願者に対し、明示している方法、手段の概要

昨年度と同様、学生募集要項には入学者選抜の方針、選抜方法を詳しく示してある。また、本学教職員による高校訪問の際、高校の進路指導の教員に入学者選抜の方針、選抜方法(推薦、一般、AO入試)等を説明している。また、受験生にも、オープンキャンパス、進学説明会等で説明を行っている。その他、電話、電子メールによる質問にも随時対応している。

(3) 広報及び入試事務についての体制(組織等)の概要

入試広報課で入試及び広報関係事務を担当している。学校案内・その他パンフレットなどの原案作成、業者選定・依頼・折衝等の業務、広告紙への掲載に関する業務、オープンキャンパスの企画・運営、進学説明会の対応などの広報関係業務に加え、入試委員会で決定した入試概要の広告、入試問題の作成依頼・確認・印刷等、の入試運営に関する業務を平成20年度は行ってきた。なお、入試広報課では、短期大学だけでなく大学の入試広報を実施しなければならない。オープンキャンパスや推薦・一般入試については、同日に実施したため、業務量は大学設置以前から大きく増えるものではないとはいえ、大学と短大部では受験対象者が若干異なるため、それぞれのターゲットに対して効果的な広報・募集活動を行わなければならない。大学・短期大学のそれぞれに所属する入試

広報委員会委員の役割が重要である。オープンキャンパスや進学説明会は、入試広報委員会委員が中心となって実施した。

(4) 選抜方法ごとの願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れの概要。および多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうかの現状。

平成21年度募集の入学試験については、学科改組があった平成20年度募集の入学試験をほぼ踏襲している。前年同様、生活科学科、アート・デザイン学科および専攻科について実施した。

生活科学科およびアート・デザイン学科の試験区分としては、推薦入試、一般入試、AO入試、特別選抜入試（社会人・留学生・帰国子女）の4種であった。

推薦入試は、11月11日、12月20日の2回実施し、出身学校長の推薦がある者について出願資格を与え、試験当日に面接を実施した。合否判定は面接と調査書の総合評価で、教授会において実施し、それに基づき合否通知を発送した。

一般入試は、2月7日、3月4日および3月23日の3回実施した。なお、最後の日程の一般入試は、3月期入試として募集した。生活科学科は前年度と同様に「国語」「英語Ⅰ・Ⅱ」「数学Ⅰ・A」「生物Ⅰ」のうちから1科目を選択する学力試験である。アート・デザイン学科は前年度試験科目の「国語」「英語Ⅰ・Ⅱ」「鉛筆デッサン」「イメージ画」の4科目に加え、「数学Ⅰ・A」「生物Ⅰ」も選択科目に加え、6科目のうち1科目を選択することとした。これは、第二志望受験を容易にするための措置である。に入学試験要項に従った点数補正を行い、それに基づき教授会で合否判定を実施し、その結果を合否通知として発送した。

AO入試の流れは次の通りである。まず、AO入試志願者はエントリーシートを提出し、さらに前もって広告されていた課題を提出する。それら書類・提出課題について一次審査を実施し評価する。その後、二次審査の日程・時間を連絡し、二次審査では、一次審査で提出した課題を基に、受験生が来校し発表する。それに対して面接担当者が質疑応答を行い、それらの結果を評価する。一次審査と二次審査の結果を総合評価として教授会に諮り、合否判定をし、合否通知を発送したという流れである。AO入試は三期にわたって実施し、一期は10月12日に、二期は12月20日に、三期は3月23日に二次審査を実施した。

特別選抜入試は、社会人・留学生・帰国子女を対象とした12月20日に実施した入試である。試験科目は「小論文」と「面接」であり、教授会で「小論文」「面接」を総合評価し、合否判定を行い、その結果を通知した。

専攻科については、推薦入試と一般入試をそれぞれ1回ずつ実施した。12月20日に推薦入試を、2月7日に一般入試を実施した。推薦入試の試験科目は「小論文」「面接」であり、短期大学もしくはそれと同等の養成校卒業予定者（現役）で短大などの看護師養成校等の学校長の推薦のある者に受験資格が与えられた。合否判定は、「小論文」「面接」「書類」の総合評価で行われ、教授会の結果、合否通知を発送した。一般入試については、原則として看護師国家試験の受験資格を持っている者（予定者含）に受験資格が与えられ、「基礎看護学」「母性・小児看護学」の学科試験と「面接」「書類」の総合評価で合否を判定した。推薦入試同様、教授会の合否判定の結果、合格通知を発送した。

すべての入試において、試験科目・概要については、前年度と同様であった。

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているか

入学式以前に、入学手続き者及び入学予定者(Ⅱ期以降の一般入試等)に対して、入学式及びオリエンテーションについての案内及び遠方の入学手続き者及び入学予定者に対しては、下宿情報を送付している。授業や学生生活についての入学前オリエンテーションは実施していない。

(6) 入学後(入学直前を含む)、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要

入学式翌日の全体オリエンテーションでは、学生ハンドブックを使い、事務手続や学生生活についての説明を行っている。また、同日に行われる学部別及び学科別オリエンテーションでは、授業・卒業要件等について、大学での学習の全体像を説明した後、履修要項及び講義要項を用いて、具体的な授業の履修方法および授業の概要について説明している。それらの情報は学生ハンドブック、履修要項に網羅されている。

【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要

入学式の翌日に実施した学部別オリエンテーションにおいて、短期大学部全体の単位制度、卒業要件、履修登録のしくみなどについて説明した。学科別オリエンテーションにおいては、クラス担任(学科の学年担当)が、科目選択、履修登録等について、履修要項、講義要項、履修登録用のマークシートを使って、具体的な説明を行った。

在学生については、前後期の学期の始めと学期の終わりにクラス担任による科目履修や学生生活支援についてのガイダンスを行っている。

(2) 基礎学力不足の学生に対し行っている補習授業等の取組みの概要。

リメディアル教育などの組織的な対応は特別に行っていないが、できるだけ専門科目と連動した基礎科目を履修し、基礎学力アップに役立てるよう指導している。少人数なので、各担当教員が授業を通じて基礎学力不足の学生の個別支援を行える体制をとっている。

(3) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みや体制

各クラスに担任、副担任がおり、学習面、生活面における学生の悩みや不安などを解消するように支援している。

(4) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援。

特に組織的な支援体制をとってはいないが、少人数であるため、選択科目やゼミ・卒業研究等では、できるだけ学生の希望に即したメニューを提供できるよう心がけている。

【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制(教員組織、事務組織のいずれも)の現状

事務組織である「学生課」が学生生活を支援する事務組織である。学生の日常生活相談・支援(奨学金等含む)、クラブ・サークル活動、学友会、学生主体の行事などについての事務を担当する。「学生委員会」は学生生活を支援する事務組織であり、学生課と協力して、上記のような学生支援活動を行い、また委員の所属学科と学生課との連絡調整を行う。

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事(学園祭、短大祭等)の実施の状況(指導体制及び学生の活動状況含む)

クラブ活動は活発であり、スポーツクラブとしては、バレー、バスケット、バトミントン、フットサル、軟式野球などのクラブがあり、軟式野球以外のクラブは県内の私立大学対抗スポーツ大会に出場し、平成20年度はバスケットボールが優勝した。そのほかにも文化的活動を行うクラブがあり、茶道、イラスト、軽音楽、グリーンエコ、Peerカウンセリング、仮装、ボランティアなどが大学公認である。なお、ほとんどのクラブ・サークルが大学と短期大学の両方の学生で構成されており、平成20年度は上級生である短期大学の学生が中心となって活躍している。

学友会活動も盛んであり、各クラスから代議員を選出し、その代議員が中心となって学友会主催の行事、学園祭や学園フェスティバルの企画運営など様々な活動を行っている。これらの活動については、学生委員会に所属する教員やクラス担任が学友会を補佐し、助言するなどの指導体制をとっている。

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要

① 食堂・学生ホール

11号館1階には、食堂、カフェ、ラウンジがある。食堂は、座席数260席である。カフェやラウンジにも椅子やテーブルがあり、学生が休息や自習をすることができるようになっている。大画面TV、飲み物や軽食の自動販売機も設置され、学生の憩いの場として利用されている。

また、9号館1階の第2試食室も昼食場所として利用できる。

② 保健室

4号館及び10号館にそれぞれベッド1台を設置した保健室を置き、体調不良者、傷病者に対応している。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舎の斡旋の体制、通学のための便宜(通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等)の概要

本学では、学生寮を設置していない。そこで、遠方からの進学者(入学手続者、入学予定者)に対しては、アパート情報を送付している。また、入学手続後に指定業者を紹介して、アパートの斡旋を行う体制を整えている。

また、学生が通学しやすくするため、スクールバスを授業時間に合わせて運行し、また自動車通学の学生のため、150台分の学生駐車場も完備している。

(5) 平成20年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金の概要

本学学生が対象となる奨学金の種類には、日本学生支援機構奨学金、その他各都道府県の奨学金制度、病院による看護学生のための奨学金がある。また本学園独自の奨学金として関崎ミレニアム奨学金があり、1年間の授業料相当額を貸与する奨学金がある。平成20年度の日本学生支援機構の取得状況は下記の通りである。

	平成 20 年度
第 1 種奨学金の貸与者	40
第 2 種奨学金の貸与者	116
第 1 種と第 2 種の併用貸与者	11
合 計	167
全学生に占める貸与者割合 (%)	34.4%

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要

平成20年度は「学校保健委員会」が学生の日常の健康管理に関する業務を担当した。具体的には、保健室の管理、具合が悪くなった学生の対応、学生健康診断の企画及び当日運営などの業務を行った。

(7) 学生支援のための学生個々の情報等の記録についての保管・保護のシステム

学生の個人情報の取扱いについては、「個人情報保護に関する規程」に従い、多くは教務システム等でPC上で管理されている。情報の目的外利用および第三者供与については、学生に十分説明した上で、承諾書を運用している。教育・学生支援で必要なデータについては上利用できる教職員を限定し、規定に従って利用することになっている。重要書類については、耐火金庫に保管するか、もしくは部署ごとに鍵付きキャビネット等で保管している。

【進路支援について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の学科別就職状況

①生活科学科

(平成21年3月31日現在)

カ		人数 (名)	割合	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合
a	卒業者数	97		74		88	
b	就職希望者数	b/a	88 90.7%	70 94.6%		85 96.6%	
c	うち学校で斡旋した 就職者数	c/b	-	37 52.9%		52 61.2%	
d	うち自己開拓した 就職者数	d/b	-	26 37.1%		19 22.4%	
e	うち就職未定者数	e/b	11 12.5%	6 8.6%		14 16.5%	
f	進学・留学希望者	f/a	9 9.3%	2 2.7%		3 3.4%	
g	その他	g/a	0 0.0%	3 4.1%		0 0.0%	

②アート・デザイン学科

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度 卒業生		平成19年度 卒業生		平成19年度 卒業生	
	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合
a 卒業者数	37		63		79	
b 就職希望者数	b/a	33 89.2%	53 84.1%		55 69.6%	
c うち学校で斡旋した 就職者数	c/b	-	4 7.5%		1 1.8%	
d うち自己開拓した 就職者数	d/b	-	15 28.3%		19 34.5%	
e うち就職未定者数	e/b	4 12.1%	34 64.2%		35 63.6%	
f 進学・留学希望者	f/a	1 2.7%	7 11.1%		5 6.3%	
g その他	g/a	3 8.1%	3 4.8%		19 24.1%	

③看護学科

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度 卒業生		平成19年度 卒業生		平成20年度 卒業生	
	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合
a 卒業者数	85		73		84	
b 就職希望者数	b/a	80 94.1%	63 86.3%		74 88.1%	
c うち学校で斡旋した 就職者数	c/b	-	29 46.0%		31 41.9%	
d うち自己開拓した 就職者数	d/b	-	34 54.0%		43 58.1%	
e うち就職未定者数	e/b	0 0.0%	1 1.6%		0 0.0%	
f 進学・留学希望者	f/a	5 5.9%	10 13.7%		8 9.5%	
g その他	g/a	1 1.2%	0 0.0%		2 2.4%	

④専攻科助産学専攻

(平成21年3月31日現在)

区分	平成18年度 卒業生		平成19年度 卒業生		平成20年度 卒業生	
	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合	人数 (名)	割合
a 卒業者数	17		17		29	
b 就職希望者数	b/a	17 100.0%	17 100.0%		29 100.0%	
c うち学校で斡旋した 就職者数	c/b	-	4 23.5%		10 34.5%	
d うち自己開拓した 就職者数	d/b	-	13 76.5%		19 65.5%	
e うち就職未定者数	e/b	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	
f 進学・留学希望者	f/a	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	
g その他	g/a	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	

(2) 学生の就職を支援する組織や体制(教員組織、事務組織のいずれも)の現状

「学生支援センター」が就職支援を行う組織である。センター長とセンター員で構成される教員による学生の進路支援組織である。平成20年度の「就職支援室」を改組して、就職のみならず、進学・留学等の多様な進路に対応するためにリニューアルした支援組織である。大学と短期大学部の両方を担当するのであるが、平成22年度までは大学の卒業生は出ないため、しばらくは短大部の就職・進学等の支援を行うことになる。短期大学部の最終学年の担任と連携して、学生の就職・進学等の支援を行い、具体的には、就職ガイダンスの企画・運営、就職相談、求人票の管理・広告、求人企業等の対応、などを行っている。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状及び学生への就職情報等の提供状況

11号館の学生支援室1に就職雑誌、求人情報(票)などを設置している。学生支援室2・3には求人票等を閲覧できるテーブルがあり、またそこで進路相談することも可能である。

また、PCが自由に利用できる時間を設定しており、求人情報やエントリーが学内のPCを使ってインターネット上でできるようにしている。

・学生支援室の現状と情報提供

学生支援センターには、学生支援室1、2、3の3部屋があり、学生支援室1に就職に関する資料(求人票、各パンフレット等)がファイルされ置かれている。資料は一般職(栄養士含む)と看護職の2区分で整理されている。学生支援室2、3には求人票等を閲覧できるテーブルがあり、それぞれが個室になっているので、ここでの相談も可能である。

就職情報は、学内のPCであればどこからでも閲覧できるように整備してある。学生は自身のユーザーIDとパスワードを利用して、学内専用の共有フォルダから、求人票一覧と求人票を閲覧できるようになっている。また自由に求人票を印刷できる。なお、全教職員についても同様に求人票等の情報は閲覧可能になっている。また、学生にとって必要な情報は、掲示で周知するばかりでなく、直接担任教員にメール・電話等により伝

達し、学生への情報伝達を確実に行うよう心掛けている。

さらに、年に複数回、学科別に就職ガイダンスを開催（一部合同開催）し、学生に就職情報（意識向上を含む）を提供している。

(4) 平成20年度の進学(四年制大学、専門学校等)及び海外留学の実績及び支援方法、体制について。

平成20年度卒業生についての学科ごとの四年制大学進学者は次の通りである。

①生活科学科

埼玉県立大学 1名 高崎経済大学 1名

②アート・デザイン学科

女子美術大学 2名、大阪成蹊大学 1名

③看護学科

桐生大学短期大学部専攻科 6名

前述のとおり、進学希望者についても「学生支援センター」が個別相談、進路情報提供などの支援を行っている。

【多様な学生に対する支援について】

平成20年度の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況、及び学習支援、生活支援の方法、体制

留学生・社会人・帰国子女を対象とした「特別選抜入試」を実施している。「小論文」「面接」を選考方法としている。また、「科目等履修生」(学則第52条)も受け入れており、その募集・入試も実施している。

平成20年度においても、ここ数年と同様、「特別選抜入試」を利用して入学した留学生・社会人・帰国子女はなく、また「科目等履修生」も応募がなかった。

【特記事項について】

学生支援において努力していること(例:学生の個人情報保護への取組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等)

①個人情報保護への取組み

「個人情報保護に関する規則」を制定し、学生の個人情報保護に取り組んでいる。教育上、個人情報の取得、活用等が必要な場合に備えて、学生に対しては、取得する個人情報及び在籍中の教育活動の中で取り扱う個人情報の利用目的、利用方法について書面で説明し、第三者提供や目的外利用については、具体的に事例を書面で通知した上で、同意書の提出を求めている。規則に従い、学生の個人情報の保護に努めるとともに、円滑な学校運営を図っている。

②成績不良者への支援

成績不良者に対しては、各学期の期末試験の後に追再試験期間を設け、救済措置を取っているほか、担任、副担任が個別に指導を行っている。

③長期欠席者

長期欠席者に対しては、担任が本人及び保護者と連絡をとり状況を把握した上、指導にあたっている。

④学生に対する表彰制度等

平成20年度においても、全国栄養士養成施設協会会長表彰、日本教育カウンセラー協会賞、日本病院管理教育協会賞、日本フードスペシャリスト協会賞による表彰がなされた。

《VI 研究》の記述及び資料等について

【教育の研究活動全般について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の専任教員の研究状況

平成18年度～20年度 専任教員の研究実績表(学科等の順に記述)

学科名	氏名	職名	研究業績				国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
			著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
生活科学	関崎 悦子	教授	0	10	0	0	無	有	
生活科学	栢沢 龍次郎	教授	0	1	0	0	無	無	
生活科学	小島 弘一	教授	0	4	1	0	無	有	
生活科学	橋本 まさ子	准教授	0	3	0	0	無	有	
生活科学	中島 君恵	講師	0	7	0	0	無	有	
生活科学	小林 恒夫	講師	0	0	0	0	無	無	
生活科学	中澤 朋弘	講師	0	0	0	0	無	無	
生活科学	中村 裕子	講師	0	1	0	0	無	有	
生活科学	清水 佳代子	講師	0	0	3	0	無	有	
生活科学	橋爪 博幸	講師	0	1	0	3	無	無	
アート・デザイン	石黒 康弘	教授	1	1	0	10	無	無	
アート・デザイン	久保田 恵美子	教授	0	0	0	21	無	有	
アート・デザイン	杉戸 信雄	教授	0	0	0	30	無	有	
アート・デザイン	松村 誠一	准教授	0	0	0	7	無	無	
アート・デザイン	小松原 洋生	講師	0	0	0	15	無	無	
アート・デザイン	山本 博一	講師	0	0	0	13	無	無	
アート・デザイン	大日向 基子	講師	0	0	0	0	無	無	
看護学科	本多 洋子	准教授	0	2	3	0	無	無	
看護学科	棚橋 さつき	准教授	6	5	14	0	無	有	
看護学科	石沢 敦子	講師	0	3	1	0	無	無	
看護学科	荒井 春生	講師	0	0	0	0	無	無	
看護学科	福島 きよの	講師	0	2	1	1	無	無	
看護学科	田邊 要輔	講師	2	0	0	2	無	無	
看護学科	内山 かおる	講師	0	0	1	0	無	無	

学科名	氏名	職名	研究業績				国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
			著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
看護学科	林 かおり	講師	0	2	1	0	無	無	
看護学科	西沢 三代子	講師	2	0	0	0	無	無	
専攻科	鈴木 由美	准教授	0	7	0	0	無	無	
専攻科	濱崎 真由美	講師	2	1	3	0	無	無	
専攻科	森島 知子	助教	0	1	3	0	無	無	

平成20年度 研究成果

①生活科学科

論文

- 中島 君恵、石井 広二、武井 菜穂子、関崎 悦子
「栄養士に必要とされる栄養情報教育の実践と評価－栄養情報処理演習のアンケート調査より－」
『桐生大学紀要』第19号, 53-60. 平成20年12月
- 小島 弘一
「カデナスとヴァネッサ」
『桐生大学紀要』第19号, 61-70. 平成20年12月
- 榮 昭博、関崎 悦子
「ラット腸管マルターゼおよびスクラーゼ活性に及ぼすブラックベリー抽出物の影響」
『桐生大学紀要』第19号, 89-94. 平成20年12月
- 井桁 千恵子、橋本 まさ子、関崎 悦子
「校外実習についての学生の意識調査(第3報)」
『桐生大学紀要』第19号, 109-112. 平成20年12月
- 中島 君恵、橋本 まさ子、中村 裕子、武井 菜穂子、関崎 悦子
「栄養士養成課程学生の学内実習(給食の運営)における衛生管理に関する調査」
『桐生大学紀要』第19号, 113-118. 平成20年12月
- 橋本 まさ子、中島 君恵
「若い世代における食物摂取の状況と今後の食生活支援について」
『桐生大学紀要』第19号, 119-124. 平成20年12月

その他

諸報告

- 橋爪博幸
「桐生大学におけるISO14001環境管理システムのなかで実践されてきた環境教育の取り組みと今後の展望」(報告)
『桐生大学紀要』第19号, 149-152. 平成20年12月

②アート・デザイン学科

論文

1. 石井 広二、佐口 勇治、小松原 洋生
「教育支援のためのナレッジ・マネジメントにむけた情報システムの考察
—メディア情報センターの役割—」
『桐生大学紀要』第19号, 83-88. 平成20年12月

その他

諸報告・芸術作品

1. 石黒 康弘
「イラストレーション—文字と表現—」
『桐生大学紀要』第19号, 153-154. 平成20年12月

展覧会等

1. 石黒康弘、久保田恵美子、杉戸信雄、松村誠一、小松原洋生
「桐生短期大学アート・デザイン学科研究室展」、平成20年9月、
ギャラリーくろさわ
石黒康弘 イラストレーション 2点
久保田恵美子 デザイン 6点
杉戸信雄 アクリル 2点
松村誠一 版画 2点
小松原洋生 CG 2点
2. 石黒康弘、久保田恵美子、松村誠一、小松原洋生、山本博一
「桐生短期大学アート・デザイン学科研究室展」、平成20年9月、つかさ画廊
石黒康弘 イラストレーション 2点
久保田恵美子 デザイン 6点
松村誠一 版画 2点
小松原洋生 CG 2点
山本博一 家具のデザイン
3. 石黒康弘
「個展いしぐろやすひろイラスト展」、イラスト 21点、平成21年3月、
ギャラリー沙蔵
4. 久保田恵美子
「第64回 現展」、デザイン 2点・版画 1点、平成20年6月、国立新美術館
5. 久保田恵美子
「長野ギャラリーくろさわ常陳」、デザイン 2点、平成20年9月、
ギャラリーくろさわ
6. 久保田恵美子
「群馬現展」、デザイン10点、平成20年9月、太田市学習文化センター
7. 久保田恵美子
「2008 GENTEN DESIGN EXHIBITION」、デザイン 2点、平成20年9~10月、
ギャラリー八重洲
8. 杉戸信雄
「桐生市展」、平成20年6月、アクリル1点、桐生市文化会館展示ホール
9. 杉戸信雄
「桐生美術協会小品展」、平成20年9月、アクリル2点、桐生長崎屋展示室

10. 杉戸信雄
「汎美術協会秋季展」、平成20年10月、アクリル2点、東京都美術館
11. 杉戸信雄
「桐生美術協会60周年記念展」、平成20年10月、油彩2点、
桐生市文化会館展示ホール
12. 杉戸信雄
「群馬県美術会 県展」、平成20年11月、アクリル1点、群馬県立美術館
13. 杉戸信雄
「桐生美術協会年末助け合い展」、平成20年12月、色紙5点、桐生島画廊
14. 杉戸信雄
「桐生美術協会展」、平成21年2月、アクリル2点、桐生市文化会館展示ホール
15. 杉戸信雄
「汎美術協会展」、平成21年3月、アクリル2点、国立新美術館
16. 松村誠一
「第76回日本版画協会展」、平成20年4月、版画1点、東京都美術館
17. 小松原洋生
「太田ビエンナーレ」、平成21年3月、CG2点、太田東毛学習センター
18. 小松原洋生
「第58回モダンアート展」、平成20年4月、CG1点、東京都美術館
19. 小松原洋生
「モダンアート明日への展望展」、平成20年9月、CG1点、埼玉近代美術館
20. 小松原洋生
「モダンアート群馬支部展」、平成20年11月、CG2点、高崎シティーギャラリー
21. 山本博一
「企業CI計画・ロゴマーク：基本デザイン」、平成20年6月

③看護学科

著書

1. 棚橋さつき（共著）
「医療依存度の高い利用者の地域における在宅療養支援の現状と課題－訪問ステーション前橋南の場合」、日本プランニングセンター『難病と在宅ケア』、
平成20年7月
2. 棚橋さつき（単著）
「特養入所者のための「看看連携」を探る」、日本看護出版協会『コミュニティケア』、平成20年7月
3. 棚橋さつき（単著）
「マグネットステーション」インタビューにて、医学書院『訪問看護と介護』、
平成20年11月
4. 棚橋さつき（単著）
「医療から介護サービスまでの地域連携(栃木PDN市民公開講座のための読本シリーズ④)」、NPO法人日本ドクターズネットワーク、平成21年2月
5. 棚橋さつき（共著）
「患者状態適応型パス」[電子コンテンツ2008年版]、財団法人日本規格協会、
平成21年3月

論文

1. 棚橋さつき（共著）
「地域で育むCOPDマネジメントー疾病管理体制の確立へ向けた地域連携パスの活用ー」『日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌第18号』，18-23、平成20年4月
2. 棚橋さつき（共著）
「特別養護老人ホーム入居者への訪問看護の提供効果に関する研究」
『岐阜看護研究会誌』，35-48、平成21年3月
3. 棚橋さつき（共著）
「タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究」『厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業報告書』，213-226、平成21年3月
4. 福島きよの（共著）
「教育大学における保健所との協働による性の健康教育の実践報告」
『上越教育大学研究紀要第28巻第1号』、平成21年2月
5. 福島きよの（共著）
「近年の養護教諭の「連携」に関する研究動向」
『日本養護教諭教育学会誌第12巻第1号』、平成21年3月

学会発表

1. 棚橋さつき
「COPDに地域連携パスにおける訪問看護の役割」、群馬クリティカルパス研究会、平成20年7月、共同
2. 棚橋さつき
「訪問看護ステーションサマリー作成についてーマニュアル作成による質の向上ー」、日本看護学会（看護管理）、平成20年10月、共同
3. 棚橋さつき
「呼吸ケアに関わる訪問看護師の役割と継続教育の体制」、第18回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会、平成20年10月、共同
4. 棚橋さつき
「COPD呼吸リハビリテーション地域連携パスにおける訪問看護の役割」、日本クリティカルパス研究会、平成20年11月、共同
5. 棚橋さつき
「特別養護老人ホーム入所者への訪問看護提供の試み（その1）」、日本公衆衛生学会、平成20年11月、共同
6. 棚橋さつき
「特別養護老人ホーム入所者への訪問看護提供の試み（その2）」、日本公衆衛生学会、平成20年11月、共同
7. 棚橋さつき
「人工呼吸器をめぐる意思決定支援のあり方 ALS療養者と患者の苦悩に寄り添って」群馬県看護学会、平成20年11月、共同
8. 棚橋さつき
「在宅における栄養管理ーアセスメント表活用に向けての問題と今後の課題ー」、群馬NST研究会、平成20年11月、共同
9. 棚橋さつき
「PEG地域連携パスの作成 前橋胃ろうネットワーク」、第24回日本動脈経腸学会抄録集、平成21年2月、共同

10. 棚橋さつき
「特別養護老人ホーム入所者への訪問看護師の関わりー訪問看護ステーションから認定看護師の看護提供の効果ー」、日本在宅ケア学会学術集会、平成21年3月、共同
11. 棚橋さつき
「皮膚・排泄ケア認定看護師による他訪問看護ステーションへの褥瘡コンサルテーションの試み」、第4回日本褥瘡学会関東甲信越地方会 群馬支部学術大会、平成21年3月、共同
12. 本多洋子
「看護学生に学校適応を促す教員の指導の検討」、日本看護学教育学会、平成20年8月、単独
13. 本多洋子
「母親の育児負担感と母乳育児継続意思の関係」、日本助産学会、平成21年3月、共同
14. 本多洋子
「産褥早期の母乳育児自己効力感と母乳育児状況」、日本助産学会、平成21年3月、共同
15. 内山かおる
「アトピー性皮膚炎をもつ児童の精神的健康の特性」、学校保健研究、平成20年11月、単独

④専攻科助産学専攻

論文

1. 鈴木 由美
「出産経験者の助産師学生に対する意識についてー学生による分娩介助への同意と付随する問題ー」
『桐生大学紀要』第19号, 71-78. 平成20年12月
2. 鈴木 由美、橋爪 由紀子
「本学の助産実習に付随する様々な問題についてー全国助産師教育協議会活動報告と比較してー」
『桐生大学紀要』第19号, 125-130. 平成20年12月
3. 鈴木 由美
「精神的な暴力に関する男性教員の意識ー夫婦間のモラル・ハラスメントについてー」
『桐生大学紀要』第19号, 131-136. 平成20年12月
4. 橋爪 由紀子、増田 裕美、濱寄 真由美、鈴木 由美、今関 節子
「助産師学生の分別介助技術到達度」
『桐生大学紀要』第19号, 137-144. 2008年12月

学会発表

1. 森島知子
「乳児をもつ父親の育児観」、第49回日本母性衛生学会総会、平成20年9月、共同

(2) 教員個人の研究活動の状況の公開についての取組みの概要

本報告書以外では、特に公開していない

(3)過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の科学研究費補助金の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況(件数)

外部研究資金の申請・採択状況(平成18年度～20年度)

外部資金調達先等	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金	無	無	無	無	1 ※	1 ※
その他の外部資金	無	無	無	無	無	無

※研究基盤 (B) の研究分担者

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況

学科において、組織的なグループ研究もしくは共同研究は行っていない。例年通り、アート・デザイン学科では、教員の共同作品展覧会を実施した。ただし、共通のテーマを設定したものではない。

【研究のための条件について】

(1) 教員の研究成果を発表する機会(学内発表、研究紀要・論文集の発行等)の確保についての概要

「桐生大学紀要」(「桐生短期大学紀要」を名称変更)を年1回発表することとなっている(紀要投稿規程より)。桐生大学及び桐生大学短期大学部の専任教員であれば投稿することができる。平成20年度は大学設置により、準備等に時間がかかったため、前年度より1月遅れの7月最後の平日までをエントリー締切とし、原稿提出は10月最後の平日までとし、12月に発行する予定となった。

(2) 平成20年度の決算における教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備への支出状況

教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成20年度の決算より生活科学科、看護学科、アート・デザイン学科、専攻科を合算した支出状況を概観すると、消耗品が1,768,785円、会費・会議費が1,955,686円、図書費が1,572,680円となっており、それぞれ研究費支出に占める割合は、26.4%, 29.2%, 23.5%となっている。学科別の支出割合をみると、生活科学科は図書費に45%ほどを支出しており、アート・デザイン学科は消耗品費についての支出が4割ほどである。看護学科についても消耗品費の支出が一番多く全体の支出の約35%を占めている。両学科とも、実験・実習用の消耗品やデザイン作品の制作のための消耗品が含まれているため、割合が多いものとなっていると考えられる。

(3) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況

各教員には、1人1部屋もしくは2人1部屋の割合で研究室が割り振られている。所属学科により研究室の広さに差があるため、比較的広い部屋を2名部屋とし、講師・助教があてられるケースが多い。教授・准教授については、原則として個室としている。

(4) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況

教員は、研修計画に基づき研修日を取得することができる。3か月ごとの研修計画書を所属学科長の了解のもと、事前に提出し、その計画に基づき研修を実施する。取得した研修についてはその内容・成果について、やはり3か月ごとに報告書を提出することとなっている。学会・研究会出張のための研修や学生が登学していない時期（夏休み・年度末等）に研究に集中するため、研修を取得する教員が多い。

《Ⅶ 社会的活動》の記述及び資料等について

【社会的活動(国際的活動は別項で記述)への取組みについて】

(1) 社会的活動への取組み、及びその理念や方針等、教育・研究における位置づけ

建学の精神・教育理念である「社会に出て役立つ人間の育成」のための教育を実践するため、学生に対しても社会貢献の重要性については、学校行事・講演等の際には、折に触れて強調している。具体的には、環境へ配慮した活動(ISO14001と連動)、ボランティア活動などを推進している。また、今年度から地域貢献推進センターを中心に、地域貢献への取組も大学・短期大学の重要な活動として位置づけている。個々の研究においても比較的「社会的有用性」の高い研究成果が見られる。

(2) 社会人受け入れの状況、及び生涯学習の観点からの社会人の受け入れ方針

本学の場合、資格取得に直結する学科が多いので、会社勤めをしながら学習をするという学生はほとんどいない。いったん会社・事業所等を辞めるか、休職して入学する学生が多い。専攻科の入学者については、定員増の影響を受け、医療現場で働いていた学生が数多く入学している。ただし、社会人枠として入学している学生は、近年は少なく、平成20年度は在籍してしない。

「社会に出て役立つ人間の育成」という建学の精神・教育理念により、社会人の受け入れに対する姿勢は積極的であり、専攻科以外については特別選抜入試を設けている。

(3)平成20年度に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況

平成20年度	内 容	受講者数
10月25日	公開講座 「本物のイタリア発見—食、音楽、芸術」 講師：ロドラ・ステファノ	約450名

(4)平成20年度の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動

みどり市については、社会福祉協議会と連携し、高齢者への給食サービス(シルバー弁当)や食に関するボランティア活動(独居高齢者宅への年末のおせち料理配達)を実践している。

平成20年度から「桐生大学—みどり市地域連絡協議会」の活動を実施している。短期大学部も医療保健学部と協力して、活動している。平成20年4月8日の“桐生大学とみどり市との連携協力に関する包括協定”に基づいて、下記の事業が計画されている(一部実施)。

「みどり市環境基本計画の作成、みどり市ブランド創出事業、みどり市施設巡りへの協力、みどり市男女共同参画推進事業、みどり市健康講座の開催、等」

【学生の社会的活動について】

(1)平成20年度の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況

みどり市や桐生市の地域活動に参加している。その主なものは下記の通りである。

- ・桐生市ファッションウィーク
- ・桐生市八木節祭り
- ・桐生市・みどり市の各種イベントのポスター等への公募
- ・みどり市の高齢者給食サービス
- ・みどり市おせち料理配達サービス、他

(2)学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についての評価

上述のように、みどり市及び桐生市等周辺地域のさまざまなイベントに、たくさんの学生が参加しており、みどり市・桐生市当局及び商工会・青年会議所等の認知度も高くなってきている。ボランティア活動においても一定の評価を受けている。地域で働く卒業生が一定の評価を得ていることと相まって、学生は地域社会で一定の役割を果たしているといえる。

【国際交流・協力への取組みについて】

(1)平成20年度の学生の海外教育機関等への派遣(留学(長期・短期)を含む)の状況

生活科学科は2年次のイタリアへの研修旅行の一環で、国立ホテル・レストラン専門学校で料理研修を行っている。

アート・デザイン学科も2年次のイタリア研修旅行において、イタリアの美術館(バチカン美術館、ウフィツィー美術館)見学やアッシジの建造物や街作りの見学を実施している。

看護学科は、2年次シドニー(オーストラリア)への研修旅行において、大学病院の視察を実施している。

(2)平成20年度の短期大学と海外教育機関等との交流の状況

前述の生活科学科と国立ホテル・レストラン専門学校、看護学科とシドニー大学病院との交流が実施されている。

(3)平成20年度の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況

該当なし

《Ⅷ 管理運営》の記述及び資料等について

【法人組織の管理運営体制について】

(1) 理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているか

理事長は、常勤であり、学園所属の各校について、現状を把握し、各所属長の意向を踏まえて、学園運営をしている。短期大学の現状把握については、起案・報告書等の書面を通して行っているが、学長や学科長と直接面談により、問題点を把握しようとするケースも多い。自身が短期大学教授であるため、学生の実情についてもよく理解している。

日常業務については、短期大学の各事務部署及び各学科からの起案・報告書については、関係部署の責任者に回覧の後、最終的には理事長が決裁をして意思決定がされることになる。なお、特に重要な事項について、特別に担当する機関等がない場合には、大学および短期大学部のそれぞれ複数の代表者で構成される大学運営評議会で原案を決定する。教授会審議事項である場合には、その後、教授会に諮ることになる。そうでない場合には、理事長の決裁で決定する。また、学園の運営に関わることについては、理事会の決定を要する。

(2) 平成20年度の理事会の開催状況(主な議案、理事の出席状況等を含む)及び理事会についての寄附行為上の規定

理事会開催状況(平成20年度)

開催年月日	主 な 議 案	出席者数	定数
平成 20.5.30(金)	1. 学校法人桐丘学園 平成19年度事業報告に関する件 2. 学校法人桐丘学園 平成19年度会計決算報告に関する件 3. 学校法人桐丘学園 平成19年度監査報告に関する件 4. 桐生大学及び桐生大学短期大学部 学則変更に関する件 5. 桐生第一高等学校 学則変更に関する件 6. 認定こども園設置認可申請に係る寄附行為変更に関する件 7. 桐生第一高等学校 サッカー部寄宿舎の建設に関する件 8. その他	6	6~8
平成 20.8.23(土)	1. 桐生第一高等学校における不祥事に係る校長退任に関する件 2. 桐生第一高等学校長選任及び役員辞任に伴う欠員補充に関する件	6	6~8
平成 20.9.24(水)	1. 桐生大学 実験動物飼育施設の建設に関する件 2. 桐生大学正門の一部改修に関する件 3. その他 各校上半期の報告(学生・生徒等の募集計画を含む)	6	6~8
平成 21.1.30(金)	1. 認定こども園桐生大学附属幼稚園の補正予算(案)に関する件 2. 諸規程の一部改正に関する件 ①情報公開規程 ②出張に関する旅費規程 ③育児休業規定、介護休業及び介護短時間勤務に関する規定 3. その他	6	6~8
平成 21.3.24(金)	1. 学校法人桐丘学園 平成21年度事業計画(案)に関する件 2. 学校法人桐丘学園 平成21年度予算(案)に関する件 3. その他(年度末における各校の報告等)	6	6~8

「学校法人桐丘学園寄附行為」においては、理事会について下記の通り規定している。

(理 事 会)

第十六条 この法人に、理事をもって組織する理事会をおく。

- 2 理事会は、学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
- 3 理事会は、理事長が招集する。
- 4 理事会は、理事総数の三分の二以上の理事から、会議に附議すべき事項を示して、理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から二十日以内に、これを招集しなければならない。
- 5 理事会の招集は、各理事に対し会議開催の場所、日時および会議に討議すべき事項を書面により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の七日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合には、前項および本項本文の規定にかかわらず、相当と認める方法で通知することができる。
- 7 理事会に議長をおき、理事長をもってあてる。
- 8 理事長が第四項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。
- 9 理事会は、この寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の過半数の理事が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。ただし、第十二項の規定による除斥のため過半数に達しないときは、この限りでない。
- 10 前項の場合において、理事会に附議される事項につき、他の理事に委任状を交付し、あらかじめ議決権の行使を委任した者は、前項の出席者とみなし、議決数に計上する。
- 11 理事会の議事は、法令およびこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 理事会の議決について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

理事の選任については、「学校法人桐丘学園寄附行為」第6条にしたがい、適正な手続きで専任されている。現員の理事の内訳は、所属長である1号理事が3名(定員3~4名)、「評議員のうちから互選により専任された」2号理事が1名(定員1名)、1号及び2号「理事の過半数により専任された」3号理事が3名(定員2~3名)である。したがって、私立学校法の規定に照らしても、著しい偏りは存しない構成になっている。

(3) 監事の業務についての寄附行為上の規定、平成20年度における監事の業務執行状況

「学校法人桐丘学園寄附行為」において、監事の業務について下記のように規定している。

(監事の職務)

第十五条 監事は、次の各号にかかげる職務を行う。

- 一、この法人の業務を監査すること。
- 二、この法人の財産の状況を監査すること。
- 三、この法人の業務または財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後二月以内に理事会および評議員会に提出すること。
- 四、第一号または第二号の規定による監査の結果、この法人の業務または財産に関し不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したときは、これを文部科学大臣に報告し、または理事会および評議員会に報告すること。

五、前号の報告をするために必要があるときは、理事長に対して評議員会の招集を請求すること。

六、この法人の業務または財産の状況について、理事会に出席して意見を述べること。

また、平成20年度の監事の業務執行状況は下記の通りである。

(1) 財産状況の監査

平成20年度会計決算に伴う会計帳簿類について、監査を実施。

監査の結果、異状なし。

平成20年度学校法人会計収入支出決算について理事会、評議員会において監査結果を報告。

公認会計士 園田昇、公認会計士 園田誠とは連絡を取りながら指導を受けている。

(2) 業務状況の監査

毎回、理事会に出席し、法人の業務執行状況の掌握と運営について理事との協議を実施、また報告を行っている。

監査の結果、異状なし。

(4) 平成20年度の評議員会の開催状況(主な議案、評議員の出席状況等を含む)、及び評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。

評議員会開催状況(平成20年度)

開催年月日	主 な 議 案	出席者数	定数
平成 20.5.30(金)	1. 学校法人桐丘学園 平成19年度事業報告に関する件 2. 学校法人桐丘学園 平成19年度会計決算報告に関する件 3. 学校法人桐丘学園 平成19年度監査報告に関する件 4. 桐生大学及び桐生大学短期大学部 学則変更に関する件 5. 桐生第一高等学校 学則変更に関する件 6. 認定こども園設置認可申請に係る寄附行為変更に関する件 7. 桐生第一高等学校 サッカー部寄宿舎の建設に関する件 8. その他	12	13~17
平成 20.8.23(土)	1. 桐生第一高等学校における不祥事に係る校長退任に関する件 2. 桐生第一高等学校長選任及び役員辞任に伴う欠員補充に関する件	13	13~17
平成 20.9.24(水)	1. 桐生大学 実験動物飼育施設の建設に関する件 2. 桐生大学正門の一部改修に関する件 3. その他 各校上半期の報告(学生・生徒等の募集計画を含む)	13	13~17
平成 21.1.30(金)	1. 認定こども園桐生大学附属幼稚園の補正予算(案)に関する件 2. 諸規程の一部改正に関する件 ①情報公開規程 ②出張に関する旅費規程 ③育児休業規定、介護休業及び介護短時間勤務に関する規定 3. その他	13	13~17
平成 21.3.24(火)	1. 学校法人桐丘学園 平成21年度事業計画(案)に関する件 2. 学校法人桐丘学園 平成21年度予算(案)に関する件 3. その他(年度末における各校の報告等)	13	13~17

「学校法人桐丘学園寄附行為」においては、評議員会について下記のように規定している。

(評議員会)

第二十一条 評議員は、評議員会を組織する。

- 2 評議員会は、理事長が招集する。
- 3 理事長は、評議員総数（現に在任する評議員および任期満了後なおその職務を行う評議員の総数をいう。以下同じ。）の三分の一以上の評議員から会議に附議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から二十日以内に、これを招集しなければならない。
- 4 評議員会を招集するには、各評議員に対し、会議開催の場所、日時、および会議に附議すべき事項を、書面により通知しなければならない。
- 5 前項の通知は、会議の七日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合には、前項および本項本文の規定にかかわらず、相当と認める方法で通知することができる。
- 6 評議員会に議長をおき、理事長がこれにあたる。
- 7 評議員会には、評議員総数の過半数の出席がなければ、その会議を開き、議決することができない。
- 8 前項の場合において、評議員会に附議される事項につき、他の評議員に委任状を交付し、あらかじめ議決権の行使を委任した者は、前項の出席者とみなし、議決数に計上する。
- 9 評議員会の議事は、出席した評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 議長は、評議員として議決に加わることはできない。

(諮問事項)

第二十三条 次に掲げる事項については、理事長はあらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。

- 一、予算、借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）および基本財産の処分ならびに運用財産中の不動産および積立金の処分。
- 二、事業計画。
- 三、予算外の新たな義務の負担または権利の放棄。
- 四、寄附行為の変更。
- 五、合併。
- 六、目的たる事業の成功の不能による解散。
- 七、寄附金品の募集に関する事項。
- 八、その他、この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの。

(評議員会の意見具申等)

第二十四条 評議員会は、この法人の業務もしくは財産の状況または役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ、もしくはその諮問に答え、または役員から報告を徴することができる。

【教授会等の運営体制について】

(1)学長の短期大学の教育活動全般についてのリーダーシップ、及び短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているか

学長は、短期大学の学長であるだけでなく、大学の学長を兼任しているため、大学・短期大学のすべての教育活動全般に関する最終責任者である。学長は、教授会を主宰し、また各委員会を統括する。短期大学の教育・研究に関わることについては、各委員会で検討し、その結果を教授会で審議し、最終的には学長が判断することとなる。

(2) 教授会についての学則上の規定(教授会で議すべき事項等を含む)、平成20年度における開催状況(主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む)

教授会について、学則上の規定は次の通りである。

第48条 本学に教授会を置き、学長、副学長、教授、准教授、を以て組織する。学長は教授会を招集し、その議長となる。

2) 学長は必要に応じて専任教職員を教授会に加えることができる。

第49条 教授会は、次の事項を審議する。

1. 学則および諸規定の制定、改廃に関する事項。
2. 教員の人事に関する事項。
3. 教育課程、授業および試験に関する事項。
4. 学生の入学、休学、復学、退学、転学、除籍および卒業に関する事項。
5. 学生の厚生補導に関する事項。
6. 学生の賞罰に関する事項。
7. 各種委員会の設置および廃止に関する事項。
8. その他大学の教育、研究および運営に関して、学長が必要と認めた事項。

第50条 前条の審議に基き学長が之を決裁する。

教授会開催状況(平成20年度)

年	月	日	主な議題	出席者数	定数
20	4	22	1 諸規程について	12名	16名
20	5	27	1 専攻科の教育課程の変更について	12名	16名
20	6	24	1 「桐生短期大学紀要」の名称、投稿規定、 その他の変更について 2 「図書館規程」等について	13名	16名
20	7	22	1 学則の改正について	13名	16名
20	8	26	1 専攻科入試推薦基準について	13名	16名
20	9	30	1 学生の身分について 2 卒業判定について	13名	16名
20	10	14	1 AO入試の判定について	13名	16名
20	11	13	1 推薦入試(I期)の判定について	13名	16名
20	12	22	1 推薦入試(II期)・AO入試(II期)・専攻科 推薦入試の判定について	13名	16名

年	月	日	主な議題	出席者数	定数
21	2	10	1 一般入試（第Ⅰ期）等の判定について 2 学生の身分について	13名	16名
21	3	6	1 一般入試（Ⅱ期）の判定について 2 卒業判定について	13名	16名
21	3	24	1 3月期入試等の判定について 2 学生の身分について 3 学則の改正について	13名	16名

(3) 教授会の下に置かれた各種の委員会等の名称と根拠規程、主な業務、構成メンバー

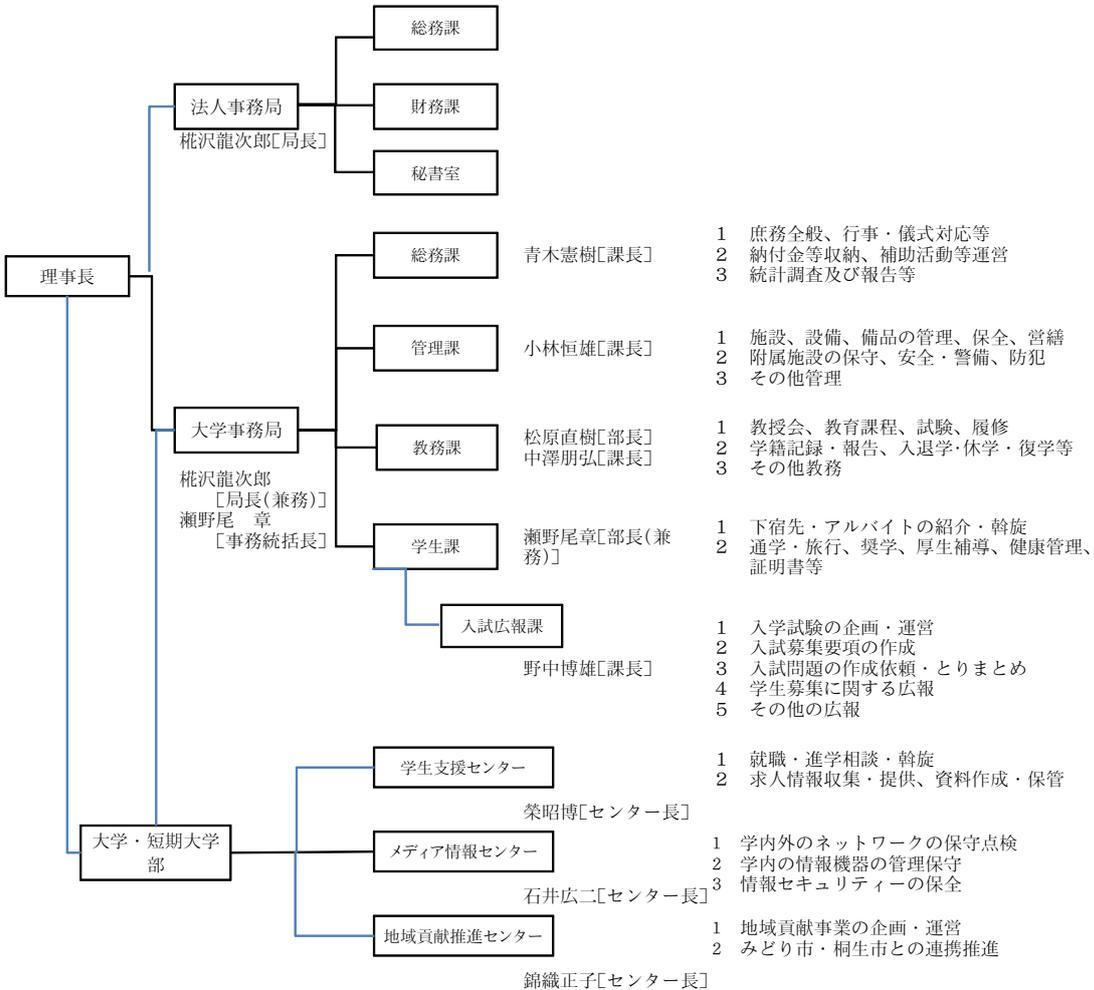
委員会名	根拠規程	主な業務	構成メンバー
教務委員会	教務委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・全学の教育に係る規程の制定及び改廃に関する事項 ・編入学、転部、転入学等に関する事項 ・学科の教育に関する事項 ・他大学・短期大学等との教育連携に関する事項 ・高等学校教育との連携に関する事項 ・社会と連携する教育及び社会人教育に関する事項 ・留学生教育に関する事項 ・教職課程に関する事項 他 	(生活科学科) 中島君恵・中澤朋弘 (アート・デザイン学科) 久保田恵美子 (看護学科) 田邊要補 (専攻科) 橋爪由紀子 ※大学と合同委員会の場合あり
学生委員会	学生委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・学生行事の企画・運営に関する事項 ・学生指導に関する事項(学生の賞罰、学生及び学友会の活動、代議員会の運営補佐、その他学生指導) ・学生の福利厚生に関する事項(奨学金、通学、等) ・学生支援センターとの連携、その他 	(生活科学科) 清水佳代子 (アート・デザイン学科) 石黒康弘・松村誠一 (看護学科) 本多洋子・福島きよの (専攻科) 濱寄真由美 ※大学と合同委員会
入試広報委員会	入試広報委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜試験(学力試験、面接、小論文、実技、調査書その他による選抜)に関すること。 ・合格者判定資料に関すること。 ・学生募集に関わる広報に関すること。 ・その他 	(生活科学科) 橋本まさ子 (アート・デザイン学科) 山本博一・大日向基子 (看護学科) 林かおり (専攻科) 鈴木由美 ※大学と合同委員会の場合あり
危機管理委員会	危機管理委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な危機管理体制の整備に関する事項 ・危機管理を必要とする諸問題に関する事項 ・全学的な防災訓練等の実施に関する事項 ・関係委員会等との連絡調整に関する事項 ・その他 	(生活科学科) 橋爪博幸・中村裕子 (アート・デザイン学科) 小松原洋生 (看護学科) 内山かおる ※大学と合同委員会
国家試験対策委員会		<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験への対策検討 ・国家試験対策カリキュラムの検討 ・国家試験対策講座等の計画・実施 	(看護学科) 菅沼澄江・石沢敦子・ 細貝孝子 ※大学と合同委員会

委員会名	根拠規程	主 な 業 務	構成メンバー
業務運営管理委員会		<ul style="list-style-type: none"> 各学科、事務部署について、業務運営・文書管理・備品管理について、年2回の定期点検を実施する。 各学科、事務部署ごとの定期点検報告書を学長に提出する。 	(生活科学科) 中島君恵 (アート・デザイン学科) 石黒康弘 (専攻科) 橋爪由紀子 ※大学と合同委員会
紀要委員会	紀要投稿規程	<ul style="list-style-type: none"> 投稿原稿の受理 投稿原稿の採否と投稿原稿の種類の決定 出版先への依頼、投稿者との連絡・調整 	(生活科学科) 橋本まさ子 (アート・デザイン学科) 松村誠一 (専攻科) 濱寄真由美 ※大学と合同委員会
学生募集委員会		<ul style="list-style-type: none"> 学生募集の方針 学校訪問対応 進学説明会対応 	(生活科学科) 中島君恵・中澤朋弘・ 橋本まさ子・橋爪博幸 (アート・デザイン学科) 久保田恵美子・石黒康弘・ 山本博一 (看護学科) 田邊要補 (専攻科) 鈴木由美 ※大学と合同委員会
F D委員会	F D委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究活動改善の方策に関する事項 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項 公開授業実施計画の立案、公開授業の実施・検討会の開催 F Dに関する教員への各種相談・指導に関する事項 教員のF D活動の指針に関する冊子及びF D活動報告書の刊行 その他 	(生活科学科) 中島君恵・中澤朋弘 (アート・デザイン学科) 久保田恵美子 (看護学科・専攻科) 今関節子 ※大学と合同委員会
倫理委員会	倫理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 倫理審査の対象となる事項に関し定められた手続きを経た申請に対し、検討する。 	短期大学の委員は不在 ※ 大学と合同委員会
科学研究行動規範委員会	科学研究行動規範委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> 桐生大学・短期大学の科学研究における行動規範に違反する不正行為に対処し行動規範の遵守を促す 	短期大学の委員は不在 ※大学との合同委員会
動物実験委員会	動物実験委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> 動物実験責任者から提出された動物実験計画書が、適切かどうかを審査するとともに、適切な指導、助言を行う 	(生活科学科) 中澤朋弘 ※大学と合同委員会
遺伝子組換え実験安全管理委員会	遺伝子組換え実験安全管理規程	<ul style="list-style-type: none"> 桐生大学・短期大学における遺伝子組換え実験を計画し、実施する際に、学長の諮問に応じて、実験について調査・審議し、その結果を学長に対し、助言又は勧告する。 	短期大学の委員は不在 ※大学との合同委員会
学校保健委員会		<ul style="list-style-type: none"> 学校保健に関する年間計画の作成 学生健康診断の実施計画・診断機関との連絡調整 抗体検査等の実施計画 保健室・相談室の運営 大学・短期大学における感染症対策 	(生活科学科) 清水佳代子 (アート・デザイン学科) 石黒康弘 (看護学科) 福島きよの・細貝孝子 ※大学と合同委員会

委員会名	根拠規程	主 な 業 務	構成メンバー
図書委員会	図書委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の運営管理方針の決検討 ・図書館の事業計画策定 ・図書購入計画の検討 ・定期購読雑誌の検討 	(看護学科) 本多洋子・林かおり ※大学と合同委員会
個人情報保護委員会	個人情報保護に関する規則	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護に関する全学的な施策に関する事項 ・個人データを含むコンピュータシステムの整備、個人データを含む帳簿等の管理など、個人データの適正な管理のための方法・措置に関する事項 ・個人データの開示、訂正もしくは抹消、利用停止、利用目的の通知の各請求、又は苦情申立がなされたときに、学長に付議された事項 ・個人データの情報漏れ等の事故を防止するための方法・措置及び事故が生じた場合の対策等に関する事項 	(生活科学科) 橋爪博幸 (アート・デザイン学科) 大日向基子 (看護学科) 内山かおる (専攻科) ※大学と合同委員会
ハラスメント防止委員会	ハラスメント防止委員会に関する規程	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントに関する相談および苦情に対するための窓口を設け、相談員を置く。 ・ハラスメントに関する事実調査のため、調査員を置く。 ・ハラスメントに関する問題処理を行う。 ・ハラスメントを防止するため、学生及び教職員に対する啓蒙指導や広報活動を行う 	(生活科学科) 橋本まさ子 (アート・デザイン学科) 小松原洋生 (看護学科・専攻科) 今関節子 ※大学と合同委員会
情報セキュリティ委員会		<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器及び学内ネットワークのセキュリティに関すること 	(生活科学科) 橋爪博幸 (アート・デザイン学科) 小松原洋生 ※大学と合同委員会

【事務組織について】

(1) 現在の法人全体の事務組織図(短期大学の事務部門含)。短期大学の事務部門の役職名(課長、室長相当者以上。兼職の有無を含む)、各部門の人員(専任・兼任の別を含む)、各部門の主な業務。



(2) 事務組織について整備している諸規程名
学校法人桐丘学園組織事務分掌規程

(3) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類(学籍簿等)の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状

決裁については、各事務部署および各学科から起案書のかたちで短期大学事務局総務課に提出される。その際、各部門の責任者(学科長・事務部門の課長等)が起案者であるか、または承認している必要がある。その後、関係部署・学長に回覧をし、原則として、それら役職者の承認を得ることが必要である。その後、本部事務局の事務局長・理事長等に回覧し、それらの役職者の承認を得て、起案書が最終的に決裁されることになる。

短期大学部長印は学長が、理事長印は理事長が鍵のかかる場所に保管している。
重要書類については、4号館1階の耐火金庫に保管している。学籍簿・卒業判定資料

・入学判定資料等の教務・入試関係重要書類もそれらの耐火金庫に保管している。

防災については、各号館の各階・各教室・部署等に防火責任者をおき、防災マニュアルに基づき対応することとしている。なお、年1回は防災訓練を実施している。

情報システムについては、情報セキュリティーセンター及び総務課が日常的なPC端末及び学内通信網のメンテナンスおよびセキュリティー対策を講じている。

(4) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか

事務職員については、教務課、学生課及び入試広報課の職員は学生に直接対応する機会が多い。教務課については、履修届の提出とそのチェック、追再試験の手続、証明書の発行等、学生に事前に告知し、それに基づいて実施される事務が多いので、手続きを守らない学生に対しては学生指導の一環としての意味もあり、厳しく対応するようにしている。それでも、ルールから逸脱しないように柔軟に対応しているため、学生と良好な関係にあると考える。学生課については、代議委員会という学生の代表者会議やクラブ・サークル活動を支援しているが、学生とよく話し合いながら活動しているため、比較的サポートされていると考える。入試広報課については、学生募集に協力してもらうのであるが、在学生は比較的進んで協力してくれ、職員との関係も良好である。

(5) 事務組織のスタッフ・ディベロップメント(SD)活動(業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等)の現状

各部門の事務研修会(財務、学校基本調査、学生募集、等)に担当者を出席させ、事務職員の能力向上及び事務処理の効率化に努めている。

【人事管理について】

(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題

短期大学部教職員の就業時間は、就業規則の変更に伴い、9時分から17時50分までとなった。教員については、教員研究職という職種の性質上、フレックスタイムで勤務時間については、柔軟に対応することとした。職員については、2交代制とし、30分から部署によっては90分程度、出勤時間に差をつける当番制とした。

(2) 法人(理事長及び理事会等)と短期大学教職員の関係

理事長が短期大学の教授を兼務しており、また学長が理事として理事会に出席するため、短期大学の意向は理事会に十分に伝わる環境にある。逆に、理事会の意向も短期大学教職員に伝わりやすい状況である。

(3) 教員と事務職員との関係

大学設置とともに事務組織にたくさんの専任職員が入ることとなったが、組織が大きくなり、事務仕事量自体が増加しているため、教員の事務職としての仕事負担は激減しているとまではいえない。ただ、現在でも教員が事務組織と協力して事務をこなしているため、教務・学生・入試広報等のさまざまな事務の重要性について十分に把握している。したがって、教務や学生募集といった分掌についても、教員と事務職員が対立することはなく、双方がお互いの立場をよく理解できている。ただ、依然として役職者の負担は大きいと、専任の幹部事務職員を増やしていくよう努力している。

(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状

教職員の健康管理については、労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に基づく健康診断を年1回実施しており、診断結果により治療・再検査等が必要な教職員には、を受診・再検査等の指導を行っている。

就業環境の改善については、大学新設とともに、研究室・空調施設の改善等がなされている。また、すべての教員にノートパソコン（Microsoft Officeインストール済）を貸与し、すべての研究室でネット環境が整備されている。また直接外線可能な電話の整備も行った。教室についても、年次計画により順次整備し、たくさんの教室で情報機器の使用が可能となっている。

専任教員の勤務時間については、前述の通りフレックスで対応しているが、授業担当時間数や校務分担により、一部教員の終業時間が遅い場合がある。そのため、平成20年度から個々の教員が関わるすべての業務の実態を把握するため、全教員に「教育研究学生指導等報告書」の提出を義務づけて、今後の勤務量の偏在の解消に努める予定である。

《IX 財務》の記述及び資料等について

【財務運営について】

(1) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続き

各学科、課単位での行事、事業計画および前年度決算状況を基に法人事務局により予算案を作成し、3月の評議員会・理事会で決定される。

(2) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続き、及び財務諸規程名

理事会で決定した予算は、教授会及び学長を通して周知している。予算の執行に係る経理、業務の流れは次の通りである。

- (1) 起案書により学長、理事長の決裁を受け、発注・購入をおこなう。
- (2) 購入後、学内の所定用紙（支払請求書）を作成し、起案書の写し、納品書、請求書等を添付して大学事務局へ提出する。
- (3) 支払請求書を理事長まで決裁を受け支払いをおこなう。

(3) 平成19年度の公認会計士監査状況の概要、及び公認会計士の監査と監事との連携状況

日常の会計処理上において会計士の判断を求めるとみなされる場合は、その都度会計士に指導を受け適切な処理を行なっている。

監事の監査においては監事2名が理事会・評議員会に出席し理事の業務について報告を受けるとともに監査、指導を行なっている。また、会計監査については適宜会計士と意見交換をしている。

(4) これまでの財務情報の公開状況、また私立学校法第47条第2項に基づく財務情報の公開状況。

事務所へ財務計算書を備え置くと共に大学報へ掲載、学内掲示板へ掲示等により公開している。平成18年度からは学園のホームページ上へ以下の計算書類を掲載している。

掲載している書類

- ・財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、監査報告書、在籍学生数等一覧

(5) 寄附行為に基づく、資金等の保有と運用に関する基本方針

元本の安全性の確保を最重要視し、資金元本が損なわれることを避けるため、安全な金融商品により保管・運用している。

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(1) 平成19年度の資金収支計算書・消費収支計算書の概要

別紙様式1

(2) 学校法人の貸借対照表の概要(平成20年3月31日現在)

別紙様式2

(3) 平成20年度の短期大学における教育研究経費比率(研究経費を帰属収入で除した比率)

教育研究経費比率(平成20年度)

区分	20年度
教育研究経費支出 (a)	206,826千円
帰属収入 (b)	599,366千円
教育研究経費比率 (a)/(b)	34.5%

【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規定

学校法人桐丘学園 固定資産及び物品管理規程

(2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状(①火災等の災害対策, ②防犯対策, ③学生、教職員の避難訓練等の対策, ④ コンピュータのセキュリティ対策, ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策, ⑥ その他)

① 火災等の災害対策

防災については、各号館の各階・各教室・部署等に防火責任者をおき、防災マニュアルに基づき対応することとしている。なお、年1回は防災訓練を実施している。(再掲)

② 防犯対策

学内へ進入した不審者については不審者対応用のマニュアルにより、対応する。

学生駐車場まで校舎から数百メートルあるため、不定期にはあるが、教員が学校周辺の巡視を行い、学生が不審者等からの被害に遭わないよう、対策を行っている。

③ 学生、教職員の避難訓練等の対策

年1回避難訓練を実施している。できるだけ多くの学生及び教職員が参加できるような日時の設定にしている(後期ガイダンス時、等)。例年、避難訓練の際には、桐生消防署から職員に来てもらって、避難の際の注意事項や消火器の使い方の講習・実施訓練などをあわせて行っている。

④ コンピュータのセキュリティ対策

サーバ室にはセキュリティシステムを導入してあり、入室権限がないものが勝手に入れないようにしている。サーバに関しては教職員用と学生用とを分けて設置しており

、アクセスするにはパスワードによる認証が必要である。さらに学内LANも教職員用と学生用で別になっており、学生ネットワークから教職員ネットワークへは侵入できないようになっているなど、セキュリティを高めている。

一方でサーバにはUPSを設置し、またデータのバックアップを毎日取っておくなど、万が一障害が発生した場合に備えている。

⑤ 省エネ及び地球環境保全

大学・短期大学全体としてISO14001の認証を受けている。そのため、大学・短期大学として次の5つの環境方針を設定している。環境方針および環境目的等に沿って、学生・教職員は大学・短期大学での日常生活を行うため、環境教育の推進やゴミの分別の徹底、廃棄物の削減への努力が日常的に行われている。また、太陽光発電システムの設置・管理を行っている。

《X 改革・改善》の記述及び資料等について

【自己点検・評価について】

短期大学運営における自己点検・評価の位置づけ、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況。

自己点検評価委員会の指示の下、各学科に所属する委員からなる自己点検評価運営委員会が、自己点検・評価の実施に係る運営をおこない、各学科部局から提出された自己点検報告をとりまとめ、報告書を作成することを任としている。

【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

(1) 平成19年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲。また今後の教職員の関わり方。

自己点検評価運営委員会の各学科所属委員が学科長とコミュニケーションをとりながら学科の自己点検・評価をまとめ、また委員長から各事務部署の長に依頼して点検・評価報告書を提出してもらっている。したがって、自己点検評価運営委員と各部署の長等が直接的には関わることになる。今後の認証評価に向けて、委員だけでなく、一般の教職員についても、自己点検・評価の必要性を認識してもらえよう働きかけていきたい。

(2) 平成19年度までに行った自己点検・評価結果の活用についての実績

具体的な実績はないが、冊子やネット上の結果を閲覧することは可能であるので、結果をよく検討し、教職員各位が自分の職務の客観的な位置づけを認識するよう働きかけている。